はじめに

この度は、W-CDMA/HSDPA 携帯電話 H11HW（以下、本製品と略します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、お手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先（裏表紙内側）にご連絡ください。

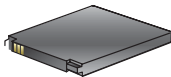
本製品は通常の携帯電話としてご使用のほか、付属 USB ケーブル、または Bluetooth で PC と接続することにより、HSDPA (3.6Mbps) のデータ通信端末としてもお使いいただくことが可能です。

梱包物について

お買い上げ頂いた本製品には、H11HW 本体と、付属品が同梱されています。すべて揃っていることをお確かめください。

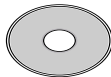
H11HW 本体

AC アダプタ

電池パック

イヤホンマイク

USB ケーブル

イヤホン変換アダプタ

CD-ROM ディスク

取扱説明書（本書）

簡易取扱説明書

保証書（本体）

保証書（AC アダプタ）

目次

説明項目見出し
操作順序
操作手順
注意事項
章番号
メール
発信前編集
1 「メールフォルダ」の「受信箱」で、を押してメールを選択します。
2 「設定」>「発信前編集」を選択します。
3 を押して電話をかけます。
注
• メールの表示中に「設定」>「発信前編集」を選択して、送信者の番号に電話をかけることも出来ます。(→ P94)
• 発信者の電話番号がない場合、「発信前編集」は使用できません。
7
メール
96
メールアドレスを保存する
1 「メールフォルダ」の「受信箱」で、を押してメールを選択します。
2 「設定」>「電話帳に保存」を選択します。
• 本体に保存 : 送信者のメールアドレスを本体に保存します。
• EM chip に保存 : 送信者のメールアドレスを EM chip に保存します。
• 既存のアイテムに追加 : 送信者のメールアドレスを既存の連絡先に保存します。
メニュー表示名

2 お使いになる前に

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

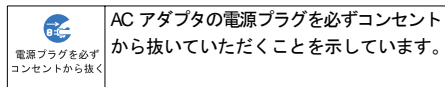
表示記号の説明

⚠危険	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の説明

禁止	本製品の取り扱いにおける禁止事項（してはいけないこと）を示しています。
分解禁止	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
濡れ手禁止	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
水濡れ禁止	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
風呂、シャワー室での使用禁止	本製品を風呂、シャワー室で使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、風呂、シャワー室で使用してはいけないことを示しています。
指示	本製品の取り扱いにおける指示事項（必ず実行していただくこと）を示しています。

図記号の説明

電源プラグを必ずコンセントから抜く	ACアダプタの電源プラグを必ずコンセントから抜いていただくことを示しています。

具体的な内容は図記号とともに文章で示しています。

免責事項

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化、消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

本体

 警告

指示	必ず専用の機器をご使用ください。指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
指示	車両の運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

禁止

航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の使用を控えてください。電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

指示

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。手術室、集中治療室 (ICU)、冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には本製品を持ち込まないでください。

- 病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医療用電子機器がある場合は、本製品を使用しないでください。

- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの措置を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電子機器を使用される場合、電波による影響について個別に医療用電子機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

※影響を受けるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医療用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

本体について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- 分解、改造をしないでください。なお本製品の改造は電波法違反になります。
- 直射日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。

- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

- 本体に無理な力を加えないでください。

指示

万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まず AC アダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態には、すぐに AC アダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外してください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。煙が出なくなったことを確認してお問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。

落雷のおそれがあるときは、すぐに AC アダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

航空法第 73 条の 4 第 5 項の規定に基づく「平成 19 年国土交通省告示第 1120 号」にて、航空機内では携帯電話機を常に OFF とする旨、告示されています。航空機にご搭乗される際は「電源自動オン／オフ」およびアラーム類をオフに設定し、ご搭乗頂きます様お願いします。

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下して、けがや故障の原因となります。

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。安全走行を損なうおそれがあります。

禁止

人が密集している場所では、使用しないでください。

指示

長時間の連続使用などで本製品が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

指示

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

指示

小児が使用する際に、保護者が使用方法を間違えていないか確認し、正しい取り扱い方法を教えてください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。

指示

クレジットカードなどを本製品に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。

指示

microSD カードを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかりと押し込み、すぐに指を離さないでください。microSD カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

指示

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。本製品は以下に記載の材料の使用や表面処理が施されています。

使用箇所	材料	表面処理
外部ケース	PC 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
メインレンズ	PMMA 樹脂	なし
電池パックカバー	アルミニウム合金	アクリル系 UV 硬化塗装処理
スクリューカバー（画面下部）	PC 樹脂	なし
サブカメラのレンズ	PMMA 樹脂	なし
カメラのレンズ	ガラス	なし
サブレンズ	PMMA 樹脂	PET 薄膜塗装
音量 +/- キー、録音キー	PC 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
外部ポートカバー	PC 樹脂および TPU ラテックス	アクリル系 UV 硬化塗装処理
ミュージックキー（側面）	PC 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
ストラップ取り付け穴	PC 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装処理
キーパッド	PET 樹脂	なし

使用箇所	材料	表面処理
スクロールキー	本体色（黒）：アルミ 本体色（白）：銅	アクリル系 UV 固化塗装処理
キーパッドの枠	PPU 樹脂	なし
OK キー	PET 樹脂	なし
電池パック用コネクタ	ベリリウム銅合金	金メッキ
電池パックカバー	樹脂部分：ABS 樹脂／PC 樹脂 ラベル：PET 樹脂	なし
電池パックコネクタ	黄銅	金メッキ

電池パック

電池パック（リチウムイオン電池パック）について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

指示　本製品で使用できる電池パックはPBH11HWZ10です。これ以外の電池パックは使用しないでください。

指示　装着するとき、電池パックの向きが決められています。本製品にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

指示　充電には、付属のACアダプタ(PCH11HWZ10)以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。

指示　直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。

指示　針を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。

分解、改造、ハンダ付けをしないでください。

指示　水や火の中に投入したり、加熱しないでください。

端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。

電池パックからもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。

警告

禁止

電子レンジや高圧容器に入れないでください。

濡れ手禁止

濡れた手で触らないでください。

水濡れ禁止

コップのそばなど､液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。

水濡れ禁止

水や海水に浸けたり、雨滴などで濡らさないでください。万一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。

禁止

電池パックから液がもれたり異臭がするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。

禁止

液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。

指示

充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

注意

指示

充電は必ず 0 ～ 45 ℃ の範囲で行ってください。
充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

指示

電池パックを本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本体に装着しないでご契約先の問合せ窓口にご持参ください。

指示

小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本製品から電池パックを取り出さないように注意してください。間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

AC アダプタ

警告

禁止

本体に接続する AC アダプタは、必ず付属の PCH11HWZ10 を使用してください。他の AC アダプタは使用しないでください。

指示

付属の AC アダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

指示

使用されないときには、安全のため、AC アダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

指示

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合は、そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐに AC アダプタをコンセントから抜き、本体の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。

禁止

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。
AC アダプタ ：100-240V

濡れ手禁止

濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

水濡れ禁止

AC アダプタを水やその他の液体につけたり、濡らしたりしないでください。

水濡れ禁止

コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

禁止

お客さまによる改造や分解・修理はしないでください。

指示

AC アダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止

AC アダプタに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

指示

コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

指示

落雷のおそれがあるときは、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。

指示

長期間使用されないときには、安全のため、AC アダプタをコンセントおよび本体から外しておいてください。

注意

指示

AC アダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

指示

周囲温度 0 ～ 45 ℃、湿度 10 ～ 95% の範囲でご使用ください。

	直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。
	ほこりの多い場所に置かないでください。
	落下させたり衝撃を与えないでください。
	コードの根元部分を無理に曲げないでください。
	重いものを載せないでください。
	電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
	布などでくるまないでください。
	電子レンジや高圧容器に入れないでください。

USB ケーブル

	分解、改造しないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
	火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。
	濡らさないでください。 水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。 使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告

禁止	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、入れないでください。 故障や火災の原因となります。
禁止	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 故障や火災の原因となります。
指示	端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。 ショートによる火災や故障の原因となります。
指示	雷が鳴り出したら、USB ケーブルには触れないでください。 落雷、感電の原因となります。

注意

指示	小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。
指示	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。
指示	USB ケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。 コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。
指示	USB ケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。感電、火災の原因となります。

付属の CD-ROM

警告

禁止

付属の CD-ROM は、一般オーディオ用の CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。非常に大きな音により耳を痛めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

ご使用上のお願い

共通

- 本製品は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばのような多湿環境や、雨に濡れるような環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。
  急激な温度変化により結露が発生し、故障の原因となります。
- 落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- 汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。また、洗濯機で洗わないでください。
- 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。
  衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 無理な力がかかるような場所に置かないでください。
- カバンに入れるときは重いものの下にならないようご注意ください。

- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

本体

- 使用中に本製品が温かくなることがありますが手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
- お客さまご自身で本製品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管していただけるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットなどに本製品を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
- 本体を直射日光の当たる所に放置しないでください。変色を起こす場合があります。
- 持ち運ぶときや使用しないときは、必ず本体画面を閉じてください。画面の破損や故障の原因となります。
- 画面は、ときどき乾いた柔らかい布で拭いて、汚れないようにしてください。
- 表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。
- 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので触れたりしないでください。画面などを傷めることがあります。
- 本製品の上に書類などをのせないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒にバッグに入れないでください。入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。
- 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。

電池パック

- 電池パックは消耗品です。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 直射日光を避け、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本製品または AC アダプタから外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

AC アダプタ

- 充電中、AC アダプタが温かくなることがありますが異常ではありません。そのままご使用いただけます。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。

カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客さまが本製品を利用して公衆に著しく迷惑をかけるような行為等を行った場合、法律、条令（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。
- 販売されている書籍類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

外部接続端子／ microSD カードスロット

- 外部接続端子や microSD カードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。故障や記録内容の消失の原因となります。
- 外部接続端子にはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。
- USB ケーブルは保証対象に含まれていません。
- コネクタは清潔な綿棒などで掃除してください。
- 外部接続端子は乾燥した柔らかい布で掃除してください。
- ケーブルは強く引っ張らないでください。指定された以外の方法でケーブルを取り付けたり取り外したりしないでください。

液晶表示

- 液晶パネルは精密度の非常に高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

ハンドストラップ

ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

その他

- テレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生する物の近くで使用しないでください。お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

ご利用いただくにあたって

- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はデジタル方式の特徴として電波状態が悪いところであっても高品質な通信を保つことができます。しかし、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本製品は日本国内でのご利用を前提としています。
- 本機はGSM通信機能を搭載しておりますが、本機の保証については日本国内のご利用においてのみ有効です。その他詳細、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先（裏表紙内側）にご確認ください。
- 現在、海外でご利用の際、EM chip を装着したままでは使用できません。その国のオペレータが提供する USIM カードに交換が必要です。（イー・モバイルは今後各国オペレータとのローミングサービス契約を進める予定です。ローミング契約が成立したオペレータのネットワークでは EM chip を装着したままでの使用が可能になる予定です。）
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chip を取り付けていない状態では使用できません。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失する恐れがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してください。

著作権等について

著作権について

動画、音楽、絵画、写真、プログラム、その他のデータベースなどは、著作権法により、その著作物及び著作権者の権利が保障されています。この様な著作物は、個人的に、又は家庭内のみにおいて使用する目的の場合のみ複製することができます。このような目的以外で権利者の了解なくこれらを複製（データ形式の変換を含む）、複製の譲渡、改変、ネットワーク上での配信などを行う場合、著作権侵害や、著作者人格権侵害として刑事処罰や損害賠償の請求を受けることがあります。

本製品を使用してデータの複製などを行われる場合は、著作権法をご遵守いただき、適切にご使用いただけるようお願いいたします。
また、本機搭載されているカメラ機能を使用して記録したものについても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

肖像権は、他人が無断で写真を撮ったり、撮った写真を無断で公表したり、利用しない様に主張できる権利です。肖像権には誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮影したり、公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、本機のカメラ機能の適切なご使用を心がけてください。

輸出管理規制について

海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

Bluetooth®使用に関するご注意

本製品は Bluetooth®Version 1.2, Class 2 に適合しており、手軽に PC や Bluetooth イヤホン等との無線接続が可能ですが、ご使用に当たっては下記にご留意下さい。

- 本製品は屋内で使用し、接続する他の Bluetooth 機器の距離は 10 m 以内です。屋外で使用することはできません。

2.4GHz 帯使用の無線機器について

- 本製品のBluetoothが使用する2.4GHzの周波数帯域は電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 本製品をご使用のに、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定省電力無線局が運用されていないことをご確認下さい。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、使用場所を変えるなどして干渉をお避けください。

3 その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りの事が起きた場合は、お問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。

注
- 本製品の Bluetooth アダプタの表示区分は下記の通りです。

2.4FH1

本製品が 2.4GHz 周波数帯 (2.4000 ～ 2.4835GHZ) を使用する周波数ホッピング (FH)方式の無線装置で、干渉距離は約10m であることを示します。

良好な通信のために

- 他の Bluetooth 機器とは見通しの良い場所で通信してください。障害物や建物の構造によっては通信距離が短くなる場合があります。
- 電子レンジからの影響を受けやすいので、少なくとも 3 m 以上離れた場所でご使用下さい。又、AV 機器・OA 機器などの電気製品からは 2 m 以上話して通信をしてください。正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオ等の受信障害（映像や音声にノイズが発生する等）の原因になる場合があります。
- 他の無線機や、放送局の近くでは正常に通信ができない場合があります。この様な場合には通信場所を変更してください。
- サービスエリア内でも電波が届かない所では通信できません。他の Bluetooth 機器との間に金属物や、鉄筋、コンクリートなどがある場合には電波が届かずに通信できない場合があります。

無線 LAN との干渉について

802.11 b/g/n の無線LAN機器と、本製品などBluetooth機器は同一の 2.4GHz 帯を使用するため、近い場所に無線LANのアクセスポイントや端末があり、運用されている場合は、Bluetooth機器との間で電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不良になる場合があります。この様な場合は、本製品を離れた場所でお使いいたり、使用していない機器の電源を切る、などにより電波障害による干渉を防ぐようにしてください。

◆ セキュリティに関するご注意

Bluetooth は電波を利用してパソコンなど他のBluetoothデバイス間と情報のやり取りを行うため、ある範囲内であれば障害物（壁など）を超えて全ての場所に電波が届きます。このため、セキュリティに関する対策を行っていない場合は、

- 通信内容を盗み見られる
- 不正に侵入される

などのセキュリティ上の問題が発生する可能性がありますので、運用の際にはご留意のうえ、必要と思われるセキュリティ対策をお取りください。

尚、Bluetooth 機能ご利用の際、上記のようなセキュリティに関して発生するいかなる問題について、弊社は保証いたしかねますのでご了承ください。

注意

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。本書では内容の正確さを期するためにあらゆる努力をしておりますが、本書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。
ワイヤレス機器を正しく安全に使用するために、安全上の注意事項をよく読んでおいてください。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人体の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) について、これが 2W/kg ※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機構 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

本製品の SAR は、0.281W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値範囲内です。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

イー・モバイルのホームページ
http://emobile.jp/

Huawei のホームページ
http://www.huawei.com/jp/

EM chip の使用方法

EM chip はイー・モバイルが契約時にお客さまにご提供する、当社専用の USIM (Universal Subscriber Identity Module) カードのことで、お客様の携帯電話番号や、認証などに関する情報を記録している IC カードです。本機を使用する前に EM chip を装着してください。EM chip を正しく使用するために、次の注意事項をよく読んでください。

- EM chip の取り付け／取り外しを行うときは、過剰な力を加えないようにしてください。
- EM chip の端子または IC 部分に触れないでください。性能が低下したり EM chip の認識が妨げられたりすることがあります。
- イー・モバイルは、EM chip の分解または変更のために発生したデータの損失や損害に対して責任を負いません。
- 火気や発熱する機器の近くなど、高温になる場所の近くに EM chip を置かないでください。
- EM chip は長時間使用すると熱くなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありませんので、続けて使用しても問題ありません。
- EM chip は、指定された機器で使用してください。他の機器で使用すると、データが失われたり EM chip が故障したりする場合があります。このような場合、イー・モバイルは損失または損害に対して責任を負いません。
- EM chip に対して衝撃を与えたり、ねじ曲げたり、水に濡らしたり、または重い物を上に置いたりしないでください。
- 低温、高温、多湿、またはほこりの多い場所に EM chip を放置しないでください。
- EM chip は子どもの手の届かない場所に保管してください。
- IC 部分は清潔な状態に維持してください。
- EM chip ファイルをバックアップしてください。イー・モバイル はファイルの損失に対して責任を負いません。
- EM chip の取り付けまたは取り外しは、慎重に行うようにしてください。
- 指定された EM chip を使用してください。

- IC 部分を破損したりショートさせないでください。

EM chip についてのご注意

- EM chip は、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- EM chip の所有権は当社に帰属します。
- 紛失、盗難時などEM chipの再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- EM chip の仕様、性能は予告無しに変更となる場合があります。
- お客様自身で EM chip に登録された情報内容などは、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

EM chip を取り付ける

1 カードスロットの差し込み口にカードを挿入します。このとき、カードの向きが下図と同じになるようにしてください。EM chip の取り付けや取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。下図に示すようにスライドさせます。

2 本体の後部にある電池パックスロットに電池パックを入れます。カチッと音を立てて電池パックが適切な位置に収まるまで電池パックを押し下げます。

3 背面カバーをスライドさせて本体に取り付けます。

EM chip を取り外す

必ず本体の電源を切った後で EM chip と電池パックを取り外してください。電源を切らないと、本体が破損する場合があります。
EM chip を取り外すには、次の手順に従います。

1 本体から背面カバーを取り外します。

2 電池パックを取り出します。

3 スロットからスライドさせて取り出します。

EM chip の PIN

PIN

PIN コードは、EM chip が不正に使用されることを防ぐための 4~8 桁の暗証番号です。ご購入時は「9999」（半角数字）に設定されています。

PIN2

PIN2 コードは、EM chip が不正に使用されることを防ぐための 4~8 桁の暗証番号です。PIN2 コードは、「固定ダイヤル番号」のような一部の特殊な機能で使用します。ご購入時は「9999」（半角数字）に設定されています。

PIN ロック解除コード (PUK/PUK2)

PIN ロック解除コード (PUK/PUK2) とは、PIN/PIN2 ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。間違った PIN/PIN2 を 3 回続けて入力すると、PIN/PIN2 ロック状態になります。PIN ロック解除コードは、イー・モバイル カスタマーセンター（裏表紙に記載）までお問い合せください。

間違った PIN ロック解除コードを 10 回続けて入力すると、EM chip がロック（EM chip ロック）されます。EM chip がロックされた場合は、ロックを解除する方法はありません。イー・モバイル カスタマーセンターまでご連絡ください。

各部の名称と機能

スクロールキー
- メニューをスクロールするときに使用します。
- ブラウザ、電話帳、新規メール作成およびデータフォルダにすばやくアクセスします。

左ソフトボタン
- 画面の操作ガイド部左側の機能を有効にします。
- 待受画面からメインメニューにアクセスします。

TV 電話
- TV電話をかけます。
- 待受画面から「通話履歴」の発信履歴画面にアクセスします。

通話キー
- 電話をかけるときや受けるときに使用します。
- 待受画面から「通話履歴」の発信履歴画面にアクセスします。

クリアキー
文字入力時にカーソルの前にある文字を削除します。

送話口

受話口

インカメラ

右ソフトボタン
- 画面の操作ガイド部右側の機能を有効にします。
- 待受画面から「ホームページ」にアクセスします。

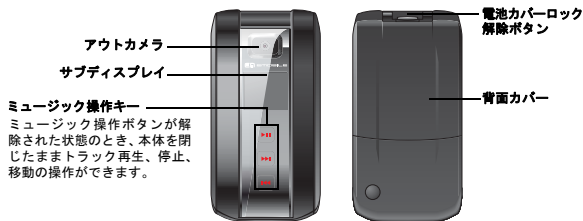
OK キー
- メニューから選択した機能を決定します。
- 待受画面からメインメニューにアクセスします。

ミュージックキー／マークキー
- 待受画面から「ミュージック」画面にアクセスします。
- オプション項目のチェックボックスを選択します。

電源／終話キー
- 電源のオン／オフや通話を終了するとき、着信拒否をしたいときに使用します。

番号キー
数字や文字を入力するときに使用します。

 # キー
待受画面で長く押すと、マナーモード設定／解除の切替ができます。

正面と背面

図に示すように
本体は静かに開きます。

注意：閉じる際は本体の上端を指で支えながらゆっくりと閉じてください。その際に指を挟まないようご注意下さい。

側面

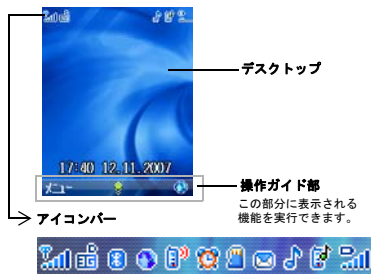
カメラキー
- 本体を開いて待受画面で長く押すと、カメラが起動します。
- 待受時に本体を閉じた状態で長押しすると、ボイスレコーダの録音を開始します。もう一度押すと録音を停止します。
- 本体を閉じてオーディオプレーヤーを使用中にこのボタンを押すと、本体正面のミュージック操作キーのロック／ロックの解除を行います。
- 待受時に本体を閉じた状態でメールを受信した際、このボタンを軽く押すと新着メール件数をサブディスプレイに表示させます。

音量キー
- 本体を開いた状態で、待受画面または通話中に押すと音量を調節することができます。
- オーディオファイル再生中に押すと音量を調節することができます。
- 待受時本体を閉じた状態でメールを受信した際、このボタンを軽く押すと新着メール件数をサブディスプレイに表示させます。（カメラキーと同じ）

ミュージックキー
待受時本体を閉じた際に長く押すと、最近再生したオーディオファイルを起動／終了できます。

外部接続端子
この端子に AC アダプタ、イヤホン変換アダプタ、イヤホンマイク、および USB ケーブルなどを接続します。

ストラップ取り付け穴
ストラップはストラップ取り付け穴に通します。

待受画面

アイコン	説　明
	電波強度を示します。バーの数が多いほど電波が強いことを示しています。
	圏外（電波が届いていない）を示します。
	ローミングサービスを使用しています。

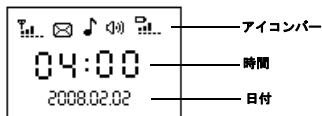
アイコン	説　明
	HSDPA ネットワークとデータ通信の両方を利用することができます。
	HSDPA ネットワークでデータ通信中です。
	電話は現在 WCDMA ネットワーク内にあります。
	WCDMA ネットワークとデータ通信の両方を利用することができます。
	WCDMA ネットワークでデータ通信中です。
	電話は現在 GSM サービスエリア内にあります。
	GSM ネットワークと GPRS サービスエリアの両方を利用することができます。
	GPRS サービスエリアでデータ通信中です。

各部の名称と機能

アイコン	説　明
	Bluetooth 機能は有効ですが、他のデバイスが本機を検出することはできません。
	Bluetooth 機能が有効になっていて、他のデバイスが本機を検出することができます。
	Bluetooth でデータ転送をしています。
	• ネットワークに接続している状態を示します。 • 本機を介して PC がインターネットに接続されています。
	セキュリティで保護されているサイトに接続しています。
	着信中です。
	着信した電話をすべて回線 1 に転送します。(→ P166)
	現在、回線 2 が有効です。(→ P166)
	着信した電話をすべて回線 2 に転送します。
	アラームが有効です。

アイコン	説　明
	microSD カードが挿入されています。
	microSD カードと本機の間でデータが転送されています。
	microSD カードが無効です。
	新着 SMS があります。
	新しいプッシュメールがあります。
	新着メールがあります。
	新着留守番メッセージがあります。
	標準モードが有効です。
	マナーモードが有効です。
	サイレントモードが有効です。
	アウトドアモードが有効です。
	ドライブモードが有効です。
	イヤホンモードが有効です。
	オフラインモードが有効です。
	個別モード 1 が有効です。
	個別モード 2 が有効です。

アイコン	説　明
	着信音が鳴動します。
	バイブレーターが有効です。
	ミュートモードが有効です。
	着信音とバイブレーターが有効です。
	電池残量を示します。目盛りが多いほどバッテリーの残量が多いことを示します。
	電池パックの残量が低下しています。充電してください。

サブディスプレイ表示について

アイコン	説　明
	電波強度を示します。バーの数が多いほど電波が強いことを示しています。
	圏外（電波が届いていない）を示します。
	未読メールがあります。
	SMS 受信 BOX がいっぱいです。
	標準モードが有効です。
	マナーモードが有効です。
	サイレントモードが有効です。
	アウトドアモードが有効です。
	ドライブモードが有効です。
	イヤホンモードが有効です。
	オフラインモードが有効です。
	個別モード 1 が有効です。
	個別モード 2 が有効です。

アイコン	説　明
(音量アイコン)	現在のモードで、すべてのサウンド（着信音、アラーム音など）が有効です。
(消音アイコン)	現在のモードで、すべてのサウンド（着信音、アラーム音など）が無効です。
(電池アイコン)	電池残量を表示します。完全充電です。
(電池アイコン)	電池残量が殆どないことを示します。充電する必要があります。

電池パックを充電する

電池パックを充電する前の注意事項

電池パックを充電する前に、注意事項をよくお読みください。(→ P9)

注

- 初めて電池パックを充電するときは、最低 12 時間は充電してください。その後は最大充電時間は 2.5 時間程度です。
- 電池パック単体では充電できません。必ず本製品に電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 使用していなくても電池パックは放電されます。長期間使用しなかった場合は、充電してから使用するようにください。
- 充電時間は周囲温度や電池パックの使用期間によって異なります。
- 利用可能時間は充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順でバッテリを充電しても、利用可能時間が短くなったら、同じ種類の電池パックに交換してください。
- 電池パックに対して衝撃を与えたり、放り投げたり、乱暴に扱ったりしないでください。液もれ、本体の損傷、過熱、爆発、または発火する可能性があります。
- 本製品に付属の AC アダプタ、もしくは指定の AC アダプタを使用してバッテリーを充電してください。

電池パックの取り付けと取り外し

必ず本体の電源を切った後で電池パックを取り外してください。電源を切らないと、本体が破損する場合があります。

1 本体から背面カバーを取り外します。

2 本体の後部にある電池パックスロットに電池パックを入れます。カチッという音がして電池パックが適切な位置に収まるまで電池パックを押し下げます。

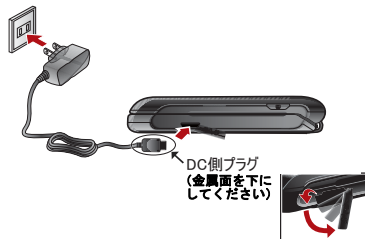
挿入する場合

取り出す場合

3 背面カバーをスライドさせて本体に取り付けます。

AC アダプタを使って充電する

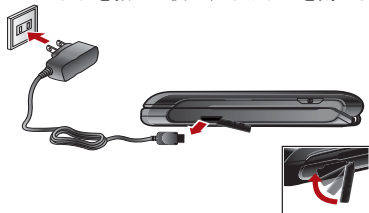
AC アダプタを使って電池パックを充電する前に、電池パックが本体に正しく取り付けられていることを確認してください。

電池パックを充電するには、次の手順に従います。

電池パックを充電する

1 上の図に示すように、本体の外部接続端子に AC アダプタのコネクタを差し込みます。この際、AC アダプタの DC 側プラグの金属面が下側になっていることを確認してください。

2 AC アダプタのプラグを家庭用 AC コンセントに差し込みます。

3 電池パックの充電中は、電池残量のアイコン が点滅し続けます。電池残量のアイコンの点滅が止まったら、電池パックの充電が完了したことを示します。

4 充電が完了したら、家庭用 AC コンセントから AC アダプタのプラグを抜き、本体から AC アダプタのコネクタを抜いた後に、キャップを閉じます。

注

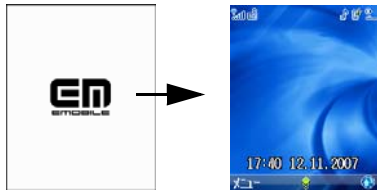
- 電源がオフで本機を閉じた状態で充電すると、充電の割合を示す棒状のアイコンが本体外面のサブディスプレイに点滅表示されます。レベルが最大になり、点滅が止まると充電が完了したことを示します。

- 電源オフで本体を開いた状態で充電すると、最初にロゴ画面が表示され、しばらくするとメインディスプレイに筒状の充電アニメーションが表示されます。アニメーションが動かなくなれば充電は完了です。(本体が閉じている場合も、開いている場合も、充電状態の表示はしばらくするとオフになりますが、側面のキーを軽く押すと再表示します。)
- 電源オンで本体を閉じた状態で充電すると、本体外側のサブディスプレイ右上の電池残量マークが点滅します。しばらくすると、サブディスプレイは自動的にオフになります。側面のキーに軽く触れると充電状態を確認することができます。電池残量マークの点滅が止まると充電は完了です。
- AC アダプタは家庭用 AC100-240V の電源に対応しています。
- AC アダプタのプラグは日本国内用です。

電源のオン／オフ

電源を入れる

1 本体を開きます。

2 メインディスプレイにイー・モバイルのロゴマーク（下記）が表示されるまで、 を押し続けます。

電源を切る

1 本体のメインディスプレイが消灯するまで、 を押し続けます。

日付と時刻を設定する

1 「メインメニュー」>「設定」>「一般設定」>「日付／時刻設定」を選択します。

2 日付と時刻を入力します。

注

- タイムゾーンの設定 (→ P187)
- サマータイムの設定 (→ P187)
- 日付表示形式の設定 (→ P158)
- 本機で設定できる日付と時刻は、2000 年 1 月 3 日午前 0 時から 2099 年 1 月 1 日午前 0 時までの間です。

機能を呼び出す

メインメニューから機能を呼び出す

1 待受画面で ◎ を押します。

2 ◎ で目的の機能を選択し、◎ を押します。

メインメニューのアイコン		
エンターテイメント カメラとミュージックアプリケーションを使用します。	**ブラウザ** モバイルインターネットの使用と設定を行います。	**通話履歴** 通話履歴を表示します。
ミュージック ミュージックとプレイリストアプリケーションを使用します。	**メール** メールまたは SMS を作成／表示します。	**データフォルダ** 本体／ microSD カードに保存されているファイルを表示します。
ツール アラームやカレンダーを設定します。	**電話帳** 電話番号やメールアドレスを登録します。	**設定** 本製品の各種設定をします。

ショートカットキー		
お買い上げ時のショートカットキーの役割を以下に示します。		
EMnet の Web サイトにアクセスします。	通話履歴にアクセスします。	ミュージックにアクセスします。
ブラウザにアクセスします。	電話帳にアクセスします。	「メール編集」画面にアクセスします。
データフォルダにアクセスします。	通話履歴にアクセスします。	標準モードとマナーモードを切り替えます（最低 1 秒間押し続けます）。

ショートカットキーの設定 (→ P158)

microSDカード

本製品では、メモリ容量が最大2GB（2008年4月現在）のmicroSDに対応していますが、市販されているすべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。

microSDカードを使用する前に

ご使用になるmicroSDカードの製品説明書をご参照の上、注意してお取り扱いください。

microSDカードの取り付け／取り外し

1 本体から背面カバーを取り外します。

2 電池パックを取り出します。

3 下図のようにスロットにmicroSDカードを差し込みます。

4 microSDカードを取り外す場合、本体の電源を切って電池パックを取り外します。microSDカードを軽く押し込むと、microSDカードは飛び出しますので、スライドさせて取り出してください。

- 必ず電源を切った状態で行ってください。メモリカードのデータ消失の原因となります。

イヤホンマイクとイヤホンマイク変換アダプタ

イヤホンマイク

本製品添付のイヤホンマイクを使用する場合は、下図の様に直接本体の外部接続端子にイヤホンマイクを接続します。

イヤホンマイク変換アダプタ

本製品添付のイヤホンマイク変換アダプタを使用すると、一般的な 10 ピン平型コネクタのイヤホンマイクを本機に接続することができます。

1 イヤホンマイク変換アダプタを本体の外部接続端子に接続します。

2 10 ピン平型イヤホンマイクをイヤホンマイク変換アダプタに接続します。

イヤホンマイクとイヤホンマイク 変換アダプタ

電話をかける

「電話帳」の操作について(→P67)
「TV電話」の操作について(→P79)

電話をかける

1 電話番号を入力します。

- キーパッドを使用して電話番号を入力します。
- [発信キー] を押して「通話履歴」から番号を選択します。
- 「電話帳」から電話番号を選択します。詳細な操作方法については、「電話帳」を参照してください。

2 [発信キー] を押して電話をかけます。

3 [終話キー] を押して通話を終了します。

注 誤った番号を入力した場合は、[クリアキー] を 1 回押してカーソルの左側にある数字を削除します。

短縮ダイヤルを使用して電話をかける

1 「短縮ダイヤル番号」を設定します。(→ P74)

2 待受画面で、設定した短縮ダイヤルキーを 1 秒以上押して音声電話をかけます。

電話を受ける／拒否する

着信があると着信音が鳴るか、振動します。

「電話帳」に登録されている相手から着信すると、相手の名前が表示されます。

また着信時の応答動作は着信応答設定メニューで設定することができます。(→ P165)

自動応答が無効のときに電話を受ける

1 電話を受ける方法は次のとおりです。

- 本体オープン : 本体を開くことで、電話を受けます。
- エニーキーアンサー : 本体を開き、 と 以外のキーを押すことで電話を受けます。
- 通話キー : 本体を開き、 を押して電話を受けます。
- イヤホンマイクを接続している場合は、イヤホンマイクキーを押して電話を受けます。

2 電話を切る方法は次のとおりです。

- 本体を閉じる、または を押して電話を切ります。
- イヤホンマイクを接続している場合は、イヤホンマイクキーを押して電話を切ります。

自動応答が有効のときに電話を受ける

1 電話を受ける方法は、次のとおりです。

- 即時応答 : 着信して 5 秒後、自動的に電話がつながります。
- 定型文 : 電話着信の 20 秒後に、相手に設定済みの SMS を送信します。
- 録音メッセージ:着信して20秒後にあらかじめ設定した応答メッセージを流して、相手の伝言を録音します。(→ P165)

2 電話を切る方法は次のとおりです。

- 本体を閉じる、または を押して電話を切ります。
- イヤホンマイクを接続している場合は、イヤホンマイクキーを押して電話を切ります。

着信を拒否する

着信音が鳴るか、振動しているときに、次の操作を行います。

- [終話キー]を押して着信を拒否します。
- 本製品が閉じているとき、かつ通話中でなければ、音量キーを２秒以上押して着信を拒否します。
- 本体が開いている場合は、本体を閉じて着信を拒否することができます。ただし、イヤホンマイクが挿入されている場合は、上記２つのいずれかの操作を行います。

注

- イヤホンマイクキーが機能するのは、電話に出るときと電話を切るときだけです。イヤホンマイクキーを使って着信を拒否することはできません。
- 本製品を閉じた状態で着信した場合、1秒間以上カメラキーを押すことで着信音を無効にできます。

音声通話中の操作

アイコンの説明

: 音声通話中です。

: 音声通話は保留中です。

: 割込着信があります。

受話音量を調整する

1 通話中に側面の音量キーを押して音量を調節します。

複数の相手への発信

通話開始前に、「割込通話」の設定を有効にしておく必要があります。(→ P193)

1 一人目の相手と通話します。

- 電話番号を入力します。「設定」>「電話発信」を選択します。

2 二人目の電話番号を入力もしくは選択します。

- 「設定」>「新規発信」を選択します。電話番号を入力します。「設定」>「電話発信」を選択します。
- 「設定」>「その他のアプリケーション」>「電話帳」を選択します。「電話帳」から電話番号を選択します。「設定」>「発信」>「電話発信」を選択します。

通話を保留する

保留中は、相手に保留音が流れ、こちらの音声は聞こえなくなります。

1 保留機能を有効にするには、通話中に を押すか、「設定」>「保留」を選択します。

2 通話を再開するには、 を押すか、「設定」>「再開」を選択します。

ハンズフリーと受話口を切り替える

1 通話中にハンズフリー機器と、受話口を切り替えるには を押します。

録音を開始／停止する

通話中に通話相手の音声を録音することができます。

1 録音を開始するには、「設定」>「録音開始」を選択します。

2 録音を停止するには、「設定」>「録音停止」を選択します。

注

- 録音した内容は、データフォルダの「ミュージック」内に自動的に保存されます。
- 録音中に通話を終了すると、録音も自動的に終了します。また、録音した内容は、データフォルダの「ミュージック」内に自動的に保存されます。

音声通話中の他の操作

項目	説　明
ミュート／ミュート解除	通話中に を押すと、音声をミュートできます。もう一度押すと、通話を再開できます。
切替	三者通話をしている際にどちらか一人だけと話すために電話を切り替えるには、「設定」>「切替」を選択します。
会議電話※	同時に 3 人以上で通話する場合に使用します。
2 者通話※	会議電話中に「設定」>「2 者通話」を選択すると、会議電話に参加しているメンバーの 1 人とのみ通話することができます。
通話終了	通話中に「設定」>「通話終了」を選択すると、現在の通話、アクティブな通話、保留中全履歴を選択して通話を終了することができます。

通話履歴

項目	説　明
電話帳	通話中に「設定」>「その他のアプリケーション」>「電話帳」を選択すると、「電話帳」画面にアクセスすることができます。
SMS	通話中に「設定」>「その他のアプリケーション」>「SMS」を選択すると、「SMS」画面にアクセスすることができます。
通話履歴	通話中に「設定」>「その他のアプリケーション」>「通話履歴」を選択すると、「通話履歴」画面にアクセスすることができます。(→ P50)

※イー・モバイルはこのサービスを提供していません。（2008 年 4 月現在）

注　割込通話は別途お申込みが必要なサービスです。詳しくは、お問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。

通話履歴

1 待受画面にて、[発信キー] または [絵/記号キー] を押します。

2 「全履歴」、「不在着信」、「着信履歴」、および「発信履歴」を切り替えるには、[左キー] または [右キー] を押します。

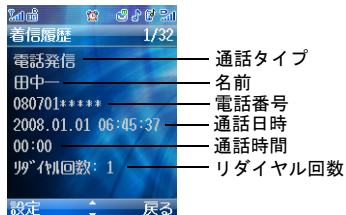
項目	説明
全履歴	着信と発信の履歴を、すべて表示します。
不在着信	応答できなかった着信の履歴を表示します。
着信履歴	応答した着信の履歴を表示します。
発信履歴	発信の履歴を表示します。

アイコンの説明

：通話中です。

：TV電話が行われています。

通話履歴の詳細を表示する

1 「全履歴」、「不在着信」、「着信履歴」、または「発信履歴」画面で、通話履歴を 1 つ選択し、◎ を押して詳細を表示します。

通話履歴を使用して電話をかける

1 待受画面にて、または を押します。

2 「全履歴」、「不在着信」、「着信履歴」、および「発信履歴」を切り替えるには、 を押します。

3 を押して通話履歴を選択します。

4 を押して音声電話をかけます。
を押して TV電話をかけます。

番号を保存する

1 待受画面にて、または を押します。

2 「全履歴」、「不在着信」、「着信履歴」、および「発信履歴」を切り替えるには、 を押します。

3 を押して通話履歴を選択します。

4 「設定」>「番号保存」を選択します。

- 本体に保存 : 選択した通話履歴の番号を本体に保存します。
- EM chip に保存 : 選択した通話履歴の番号を EM chip に保存します。
- 既存のアイテムに追加 : 選択した通話履歴の番号を既存の連絡先に保存します。

通話履歴を削除する

通話履歴を 1 件削除したい場合の手順は、次の通りです。

1 待受画面にて、または を押します。

2 「全履歴」、「不在着信」、「着信履歴」、および「発信履歴」を切り替えるには、 を押します。

3 を押して通話履歴を選択します。

4 「設定」>「削除」>「はい」を選択します。

通話履歴をすべて削除する場合の手順は、次の通りです。

1 待受画面にて、または を押します。

2 「全履歴」、「不在着信」、「着信履歴」、および「発信履歴」を切り替えるには、[キー]を押します。

3 「設定」>「マーク／マーク解除」>「全てをマーク」を選択します。

4 「設定」>「削除」>「はい」を選択します。

通話履歴の設定

通話履歴の「設定」では、以下の操作を行うことが出来ます。

項目	説　明
発信前編集	電話をかける前に番号を編集します。
SMS 新規作成	新しい SMS を作成します。
番号保存	選択した番号を、電話帳に保存します。(→ P52)
発信	選択した番号に、電話 またはTV電話をかけます。(→P52)
表示モード	「標準モード」：通話履歴を、全件表示します。 「簡易モード」：同じ電話番号への記録がまとめて表示されます。
削除	通話履歴を削除します。(→ P52)
マーク／マーク解除	選択した通話履歴 またはすべての通話履歴に、マークの設定／解除を行います。
通信の状況	音声通話、TV 電話、またはデータ通信の履歴を表示します。(→P53)

通信の状況

音声通話、TV 電話、またはデータ通信の履歴を表示します。

1 「通話履歴」画面にアクセスするには、待受画面で[キー]または[キー]を押します。

2 「全履歴」、「不在着信」、「着信履歴」、および「発信履歴」を切り替えるには、[キー]を押します。

3 [キー]を押して通話履歴を選択します。

4 「設定」>「通信の状況」を選択します。

- 電話：前回の音声通話時間、着信音声通話時間、発信音声通話時間、すべての音声通話の合計時間、および最後のリセット時刻を表示します。
- TV電話：前回のTV電話時間、着信TV電話時間、発信TV電話時間、すべてのTV電話の合計時間、および最後のリセット時刻を表示します。
- データ通信：送信データの合計量、受信データの合計量、接続時間の合計、最後の送信データの量、最後の受信データの量、最後の接続時間、および最後のリセット時刻を表示します。

注
- 「電話」、「TV電話」、または「データ通信」のいずれの画面においても「リセット」を選択することによって、その画面のすべての統計情報をリセットすることができます。

緊急通話

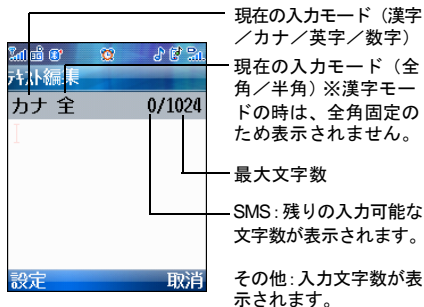
携帯電話の通話機能の一部が制限されている場合でも、110（警察）、119（消防・救急）、または 118（海上保安本部）に発信することができます。

自局電話番号

お客様の電話番号を確認します。

自局電話番号を表示する

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 ◎を押して「通話設定」>「自局電話番号」を選択します。

文字入力画面

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で、[キー]を押します。

2 「入力モード」を選択します。

3 入力モードを選択して[キー]を押します。

注

- 選択できる入力モードは、文字入力を行う画面により異なります。例えば、Eメールアドレスの入力画面では左ソフトボタンで文字種変更は行えません。
- [＊キー]を押しても、入力モードを切り替えることができます。
- 全角と半角を切り替えるには「設定」＞「全角」／「半角」を選択します。また、漢字入力モード以外では、[＊キー]を長く押すことで全角と半角を切り替えることができます。

キーの割り当て

複数の文字が各キーに割り当てられています。目的の文字が表示されるまで、キーを繰り返し押してください。

キーの割り当て

キーパッド	全角かな（漢字変換）	カタカナ（全角／半角）	英文字（全角／半角）			数字（全角／半角）
			Abc モード（最初の文字のみ大文字）	ABC モード	abc モード	
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	. @ ！ ？	. @ ！ ？	. @ ！ ？	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	Abc2	ABC2	abc2	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	Def3	DEF2	def3	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	Ghi4	GHI4	ghi4	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	Jkl5	JKL5	jkl5	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	Mno6	MNO6	mno6	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	Pqrs7	PQRS7	pqrs7	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	Tuv8	TUV8	tuv8	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	Wxyz9	WXYZ9	wxyz9	9
0 わを ん ー	わをんゎー、。・ ～！？（スペース）	ワヲンヮー、。・ ～！？（スペース）	（スペース）0	（スペース）0	（スペース）0	0
＊	文字確定前：゛（濁点）、゜（半濁点）		大文字／小文字切替			
	文字確定後（もしくは未入力時）：短押しで入力モード切替、長押しで全角／半角切替					

<table>
<tr><th rowspan="2">キー
パッド</th><th rowspan="2">全角かな
（漢字変換）</th><th rowspan="2">カタカナ
（全角／半角）</th><th colspan="3">英文字
（全角／半角）</th><th rowspan="2">数字
（全角／半角）</th></tr>
<tr><th>Abc モード
（最初の文字のみ大文字）</th><th>ABC モード</th><th>abc モード</th></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">文字確定前: キー割り当てされた文字を、逆順に変化させる</td><td colspan="4">—</td></tr>
<tr><td colspan="6">文字確定後（もしくは未入力時）: 改行入力</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">記号／絵文字入力</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">短押し : カーソルが文字列の中にある場合は、カーソル以降の 1 文字を消去／カーソルが文字列末尾にある場合は、カーソル以前の 1 文字を消去

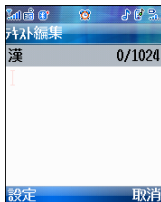
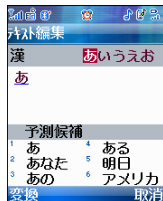
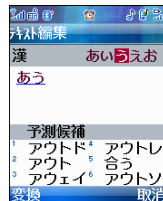
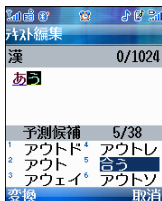
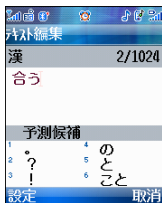
長押し : カーソルが文字列の中にある場合は、カーソル以降の文字を全て消去／カーソルが文字列末尾にある場合は、カーソル以前の文字を全て消去</td></tr>
</table>

注 : キーを押すたびに上記各文字が左から右に変化（ で逆順変化）

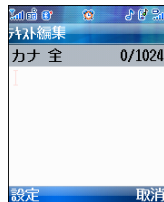
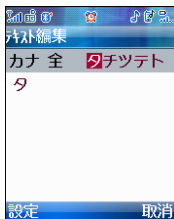
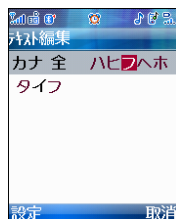
文字の入力

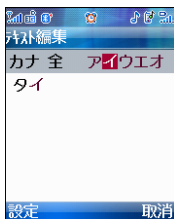
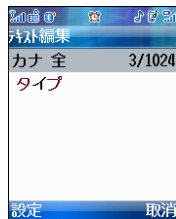
漢字／ひらがなを入力する

漢字モードで、文字を入力します。たとえば、「合う」を入力します。

1 入力モードを「漢字」にします。

2 1 を1回押して「あ」を入力します。

3 ◎を押してから、1 を3回押して「う」を入力します。

4 ◎を押して予測変換画面へ移動し、「合う」を選択します。

5 ◎を押すと、「合う」が入力されます。

カタカナを入力する

カタカナの入力は、入力モードで「アイウ」を選択します。たとえば、「タイプ」と入力する場合は、以下の手順で行います。

1 入力モードを「全角カタカナ」にします。

2 4 を押して「タ」を入力します。

3 1 を2回押して「イ」を入力します。

4 6 を3回押して「フ」を入力します。

5 半濁点の入力を、* を2回押して行います。
「プ」と表示されたら ◎ を押して確定します。

注　濁点を入力は ＊ を１回押します。また、半濁点の入力は ＊ を２回押してください。

英字を入力する

入力モードで、Abc（全角／半角）、ABC（全角／半角）、abc（全角／半角）のいずれかを選択します。入力モードが英字の場合、文字を入力して一定時間（約1秒）経過すると、自動的にカーソルが右へ移動します。

数字を入力する

文字入力モードで「１２３（全角）」または「123（半角）」を選択します。

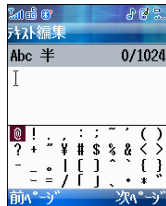
記号／絵文字を入力する

イー・モバイル以外の携帯電話、もしくはパソコンなどへ絵文字などを含んだメールを送信した場合、受信側で正しく表示されない場合があります。

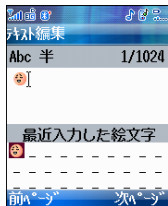
1 文字入力画面で 絵記号 を押して、記号入力画面を表示します。

- 記号と絵文字を切り替えるには 絵記号 を押します。
- 「最近入力した絵文字」には、過去に入力した絵文字が表示されます。

2 記号または絵文字を選択します。

- 記号入力画面では、 と を押して、表示される記号の切替が行えます。目的の記号が表示されたら を押して選択し、 を押して入力します。入力できる記号の一覧。(→ P206)

- 記号入力画面で、もう一度 絵記号 を押すと、絵文字入力画面になります。絵文字入力画面では、 と を押して、表示される絵文字の切替が行えます。目的の記号が表示されたら

を押して選択し、を押して入力します。入力できる絵文字の一覧。(→ P207)

- 入力した絵文字は、「最近入力した絵文字」に反映されます。

3 を押して記号または絵文字入力画面を終了します。

定型文を入力する

◆ 定型文

1 文字入力画面で「設定」>「定型文」>「定型文」を選択し、を押します。

2 定型文が一覧で表示されますので、を押して選択し、を押して入力します。

- 選択できる定型文は編集することができます。(→P108)

◆ インターネット用語

1 文字入力画面で、「設定」>「定型文」>「インターネット用語」を選択し、を押します。

- 選択できるインターネット用語は、編集することができます (→ P108)

2 インターネット用語が一覧で表示されますので、希望の用語を選択して ◎ を押すと、選択した用語が編集画面に入ります。

電話帳の情報を引用する

電話帳（本体及び EM chip）に登録されている電話番号を文字入力時に引用することができます。

1 文字入力画面で、「設定」>「番号引用」を選択し、◎ を押します。

2 番号を引用したい連絡先を選択し、◎ を押します。

- 検索方法 (→ P73)

日本語変換方式

予測変換

予測変換機能を使用すると、ユーザーは簡単かつすばやく文字を入力することができます。

項目	説　明
予測候補	入力された単語や、以前に確定された内容から予測される候補を表示します。
変換候補	入力された単語に一致する候補を表示します。

- 予測変換機能を変換候補機能に切り替える場合は、[··] を押します。
- 変換候補機能を予測変換機能に切り替える場合は、[⊏] を押します。
- 「予測変換設定」により、予測候補をオフにすることができます。(→ P65)

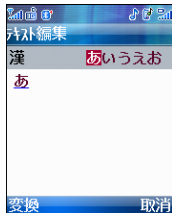
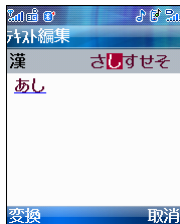
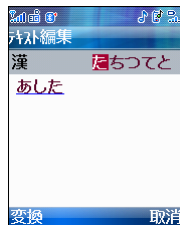
◆ 予測変換機能を使用する

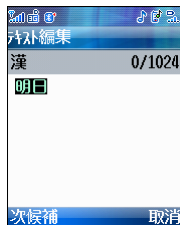
日本語入力画面は起動時には「予測変換」方式になっています。予測変換での入力例。（→ P58）

◆ 変換候補機能を使用する

たとえば「明日」と入力する場合は、以下の手順で行います。

日本語変換方式

1 入力モードを「漢字」にしてから、[1] を1回押して「あ」を入力します。

2 [3] を2回押して、「し」を入力します。

3 [4] を1回押して、「た」を入力します。

4 [・・] を押して「変換候補」を表示して、[◎] で選択します。「明日」を選択したら、[○] を押して入力します。

4 文字の入力

◆ 学習履歴を初期化する

学習した内容を初期化します。

1 文字入力画面で、「設定」＞「学習履歴初期化」を選択します。

2 「はい」を選択します。

◆ 予測変換機能を有効または無効にする

1 文字入力画面で、「設定」＞「予測変換設定」を選択します。

2 を押して「オン」または「オフ」を選択します。

- オン：予測変換機能を有効にします。
- オフ：予測変換機能を無効にします。

ユーザー辞書

頻繁に使用する単語や文章をすばやく入力することができます。登録することで、予測変換や変換候補に反映されるようになり、入力が簡単に行えるようになります。

新規登録する

1 文字入力画面で、「設定」＞「ユーザー辞書」を選択します。

2 「単語入力」画面で、登録したい単語または文節を入力して を押します。

- 記号や絵文字を含む、最大 25 文字を登録できます。

3 「読み入力」画面で、登録したい単語や文節の読みを入力して を押します。

- 最大 8 文字の全角ひらがなを入力できます。

ユーザー辞書

- 本製品では、電話帳を本体及び EM chip それぞれ登録することが可能であり、個別に使用することができます。
- 本体の電話帳には連絡先として、電話番号とメールアドレスの登録を 1,000 件まで、保存することができます。
- 頻繁に使用する番号を 8 件まで、短縮ダイヤルに割り当てることができます。

連絡先を新規作成する

本体と EM chip

◆ 本体

項目	説　明	入力可能文字／ファイル形式	最大文字数
名前	名前を入力します。	文字、数字、記号	129 文字（全角、半角とも）
ヨミ	読み仮名を入力します。ヨミは名前を入力する際に自動的に入力されます。（本体電話帳のみ）	文字、数字、記号	129 文字（全角、半角とも）
携帯電話	携帯電話の電話番号を入力します。	数字、「+」，「*」，「T」，「H」，「#」	40 文字（半角のみ）
勤務先番号	勤務先の電話番号を入力します。	数字、「+」，「*」，「T」，「H」，「#」	40 文字（半角のみ）
自宅の番号	自宅の電話番号を入力します。	数字、「+」，「*」，「T」，「H」，「#」	40 文字（半角のみ）
E メール	メールアドレスを入力します。	文字、数字、半角記号	128 文字（半角のみ）
FAX 番号	FAX 番号を入力します。	数字、「+」，「*」，「T」，「H」，「#」	40 文字（半角のみ）

連絡先を新規作成する

項目	説　明	入力可能文字／ファイル形式	最大文字数
通常着信音	音声通話の着信音を設定します。	「mp3」，「mid」，「wav」，「qcp」，「aac」，「amr」，「mp4」，「3gp」，「3g2」，「midi」	－
TV電話着信音	TV電話の着信音を設定します。	「mp3」，「mid」，「wav」，「qcp」，「aac」，「amr」，「mp4」，「3gp」，「3g2」，「midi」	－
国	国を入力します。	文字、数字、記号	64 文字（全角、半角とも）
都道府県	都道府県を入力します。	文字、数字、記号	128 文字（全角、半角とも）
市区町村	市区町村を入力します。	文字、数字、記号	128 文字（全角、半角とも）
番地	番地を入力します。	文字、数字、記号	128 文字（全角、半角とも）
郵便番号	郵便番号を入力します。	文字、数字、記号	40 文字（全角、半角とも）
アイコンイメージ	着信したときに表示する写真を設定します。	「jpeg」，「vnd.wap.wbmp」，「gif」，「png」，「bmp」，「bitmap」，「jpg」	－
誕生日	誕生日を入力します。	年、月、日	－

◆ EM chip へ登録できる項目

項目	説　明	入力可能文字／ファイル形式	最大文字数
名前	名前を入力します。	文字、数字、記号	20 文字（全角、半角とも）＊
ヨミ	読み仮名を入力します。	文字、数字、記号	19 文字（半角のみ）＊
電話	電話番号を入力します。	数字、「+」，「*」，「T」，「H」，「#」	40 文字（半角のみ）
電話	別の電話番号を入力します（この項目は、ご利用される USIM によっては、使用できない場合がございます）。	数字、「+」，「*」，「T」，「H」，「#」	40 文字（半角のみ）
E メール	メールアドレスを入力します（この項目は、ご利用される USIM によっては、使用できない場合がございます）。	文字、数字、記号	128 文字（半角のみ）

＊ EM chip 以外の USIM をご利用の場合、最大文字数は異なる場合があります。

連絡先を作成する

◆ 本体に連絡先を作成する

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 ［センターキー］を押して「本体」を選択します。

連絡先を新規作成する

3 「設定」>「新規追加」を選択します。

4 編集したい項目でを押して、情報を入力します。編集が終わったらを押して保存します。

5 基本的な情報を入力したら、を押して詳細な情報を設定します。

6 「設定」>「保存」を選択して保存します。

◆ EM chip に連絡先を作成する

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「EM chip」を選択します。

3 「設定」>「新規追加」を選択します。

4 編集したい項目で を押して、情報を入力します。編集が終わったら を押して保存します。

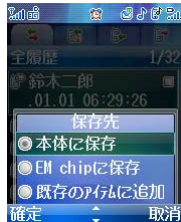
5 「設定」>「保存」を選択します。

通話履歴を使って電話帳を作成する

通話履歴にある電話番号を、新規もしくは既存の電話帳に登録します。

1 「メインメニュー」>「通話履歴」を選択します。

2 を押して通話記録を選択します。

3 「設定」>「番号保存」を選択します。

- 本体に保存：電話の連絡先登録を選択し、他の情報を入力してから、「設定」>「保存」を選択します。
- EM chip に保存：EM chip の連絡先登録を選択し、他の情報を入力してから、「設定」>「保存」を選択します。
- 既存のアイテムに追加：登録済みの連絡先に対して、電話番号を追加できます。

注

- 既存のアイテムに追加する際に、既に連絡先に登録されている番号の場合は、既に登録されている電話番号を書き換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- 番号を検索する。(→ P73)

グループ

グループの名前の変更、グループへのメンバーの追加、グループの削除を行うことができます。

グループにメンバーを追加／削除する

本体に登録したグループにメンバーを追加したり、メンバーを削除したりすることができます。

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「グループ」を選択します。

3 グループを選択し、を押して詳細を表示します。

4 「設定」>「追加」を選択します。追加したい連絡先を選択してを押します。追加されたメンバーは、グループメンバーリストに表示されます。

グループメンバーを削除するには、グループメンバーリストからメンバーを選択して「設定」>「削除」を選択します。

グループを管理する

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「グループ」を選択します。

3 グループを選択し、「設定」を選択すると、次のオプションを選択することができます。

- 詳細：グループの詳細を表示します。
- 名前変更：グループの名前を変更します。
- メッセージの作成：SMS またはメールをグループすべてのメンバーに送信します。
- 削除：グループを削除し、グループに登録されたメンバー設定を解除します。

注　電話帳にあらかじめ登録されているグループ名（家族・友人・同僚・同級生）は変更したり、削除したりすることはできません。

電話帳を使用する

電話帳の検索

電話帳には、「本体」「EM chip」「グループ」のタブがあり、を押すことでそれぞれの画面に移動することができます。

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「本体」または「EM chip」を選択します。

3 「設定」>「検索」を選択します。

4 検索する電話帳の読みを入力するか、最初の文字を入力することで、該当する電話帳が表示されます。

注　検索を開始した画面が、「本体」「EM chip」のどちらであっても、検索結果は両方の電話帳で一致した内容が表示されます。

電話をかける

電話帳で選択した連絡先を使って音声電話／ TV 電話をかけることができます。

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「本体」または「EM chip」を選択します。

3 電話帳を選択して「設定」>「発信」>「電話発信」または「TV 電話」を選択して、電話をかけることができます。また、「発信前編集」を選択して電話をかける前に番号を編集することもできます。

メールを作成する

電話帳から、SMS またはメールを作成することができます。

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

電話帳を使用する

2 を押して「本体」 または「EM chip」 を選択します。

3 電話帳を選択して「設定」>「メッセージの作成」を選択します。次に、「メール」または「SMS」を選択して、メッセージを作成します。ただし、選択した電話帳にメールアドレスが存在しない場合は、メールを作成することはできません。

短縮ダイヤル

頻繁に使用する電話番号を、キーパッドの 2 から 9 に割り当てて、短縮ダイヤルとして登録することができます。

◆ 短縮ダイヤル番号を設定する

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「本体」 または「EM chip」 を選択します。

3 「設定」>「短縮ダイヤル番号」を選択します。

4 で登録する短縮ダイヤルキーを選択して、で決定します。

5 短縮ダイヤルとして設定する電話帳を検索します。

6 電話帳に複数の番号がある場合は、短縮ダイヤル番号として 1 つを選択します。

7 を押して保存します。

◆ 短縮ダイヤルキーを使用する

待受画面で、2 から 9 のキーを長く押して発信します。

その他の設定

Bluetooth 接続、プロフィールのバックアップ、および保存情報など、その他のオプションの設定を行います。

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「本体」 または「EM chip」 を選択します。

3 「設定」を選択すると、次のオプションを選択することができます。

項目	説　明
詳細	連絡先の詳細を表示します。
発信前編集	電話をかける前に番号を編集することができます。
メッセージの作成	選択した連絡先に SMS またはメールを送信します。(→ P73)
新規追加	新しい連絡先を作成します。
発信	選択した連絡先に音声電話または TV 電話をかけます。(→ P73)
検索	連絡先を検索します。
Bluetooth 接続	Bluetooth をサポートする他のデバイスに電話帳を送信します。
EM chip にコピー／本体にコピー	本体から EM chip に、または EM chip から本体に電話帳をコピーします。
短縮ダイヤル番号	頻繁に使用する番号を [2] から [9] の短縮ダイヤルキーに割り当てます。
マイプロフィール	自分の情報をプロフィールとして保存します。情報は Bluetooth で送信することができます。

項目	説　明
電話帳のバックアップ ＊	• 電話帳のバックアップ : 本体から microSD カードに電話帳をバックアップします。 • 電話帳の復元 : microSD カードから本体に電話帳を復元します。 • 同期 : 電話帳の情報とネットワークサーバーの情報を同期させます。(→ P181)
削除	選択した連絡先を削除します。
マーク／マーク解除	本体 または EM chip 上の 1 つまたは全ての連絡先を マーク／マーク解除します。
メモリ使用状況	本体と EM chipの両方のメモリ使用状況を表示します。
設定	• 自動保存 :「オン」、「オフ」、または「確認メッセージ表示」を選択します。

＊「EM chip」では表示されません。

電話帳を編集する

電話帳を編集する

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「本体」または「EM chip」を選択します。

3 編集する連絡先を検索してを押します。

4 編集する項目を選択してから押すか、「設定」>「編集」を選択して、編集を開始します。新しい情報を入力したら、を押して編集を終了します。

5 「設定」>「保存」を選択して、編集した電話帳を保存します。

本体／ EM chip にコピーする

本体から EM chip に、または EM chip から本体に、電話帳をコピーすることができます。

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「本体」または「EM chip」を選択します。

- 複数の電話帳をコピーする場合は、コピーしたい電話帳で、「設定」>「マーク／マーク解除」>「マーク」を選択して、連絡先の右側にあるチェックボックスをオンにします。
  コピーの対象から外したい場合は、「設定」>「マーク／マーク解除」>「マーク解除」を選択して、チェックボックスをオフにします。

  マークの設定／解除は、を押すことでも設定することができます。
- すべての電話帳をコピーする場合は、「設定」>「マーク／マーク解除」>「全てをマーク」を選択します。
- 電話帳を 1 件だけコピーする場合は、コピーしたい連絡先にカーソルを合わます。

3 「設定」>「EM chip にコピー」または「本体にコピー」を選択します。すべて、または、複数の電話帳をコピーする場合は、「設定」>「マーク項目を EM chip にコピー」または「マーク項

目を本体にコピー」を選択します。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択します。

注 本体から EM chip にコピーする場合、EM chipに登録できる項目のみコピーされます。

電話帳を削除する

本体または EM chip から電話帳を削除します。

1 「メインメニュー」>「電話帳」を選択します。

2 を押して「本体」または「EM chip」を選択します。

3 削除したい電話帳を選択します。

- 複数の電話帳を削除する場合は、削除したい電話帳で、「設定」>「マーク／マーク解除」>「マーク」を選択して、電話帳の右側にあるチェックボックスをオンにします。
  削除の対象から外したい場合は、「設定」>「マーク／マーク解除」>「マーク解除」を選択して、チェックボックスをオフにします。
  マークの設定／解除は、を押すことでも設定することができます。
- すべての電話帳を削除する場合は、「設定」>「マーク／マーク解除」>「全てをマーク」を選択します。
- 電話帳を 1 件だけ削除する場合は、削除したい電話帳にカーソルを合わせます。

4 「設定」>「削除」を選択します。全て、または、複数の電話帳を削除する場合は、「設定」>「マーク項目を削除」を選択します。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択して確定します。

電話帳を編集する

6 TV 電話

はじめに

TV電話中の画面について

アイコン	説　明
	を押して、カメラの明るさを調整します。
	を押して、カメラをズームインまたはズームアウトします。
	音量キーを押して、音量を調整します。

アイコン	説　明
	設定で、音声をオンまたはオフにします。(→ P81)
	設定で、カメラをオンまたはオフにします。(→ P81)
	を押して、ハンズフリーまたは受話器通話に切り替えます。(→ P81)

注

- TV電話は、W-CDMA/HSDPAネットワークでのみ実行できます。
- TV 電話中は本機が熱を帯びる場合がありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。

TV電話をかける

1 電話番号を入力します。

- 番号キーで電話番号を入力します。
- を押して、通話履歴から番号を選択します。(→ P52)

- 電話帳から番号を検索します。(→ P73)

2 を押してダイヤルします。

3 を押して通話を終了します。

TV電話を受ける

1 TV 電話が着信したら、 または を押して通話に応答します。

2 自分のカメラの映像を、相手に送信するかを選択します。

- はい：カメラ画像が送信されます。
- いいえ：選択した代替画像が送信されます。

注
- 代替画像の設定。(→ P85)
- イヤホンマイクが接続されている場合は、イヤホンマイクキーを押してTV電話に応答したり、TV 電話を終了することができます。
- 「カメラ」の設定がオフになっている場合は、手順 2 の確認画面が表示されません。(→ P84)

3 を押して通話を終了します。

TV電話中の基本的な操作

受話音量

1 側面の音量キーを押して、TV電話中の受話音量を調整します。

通話中の受話音量のレベルは、お買い上げ時では 4 です。

ハンズフリー／受話機通話

ハンズフリーまたは受話機通話に切り替えます。

1 通話中に ◎ を押すと、ハンズフリーまたは受話機通話に切り替えることができます。

TV電話を保留する

保留にすると、相手側に音声が送信されなくなります。またカメラの映像も、あらかじめ設定した固定画像が表示されます。(→ P85)

1 TV電話中に保留にするには を押します。

2 TV電話を再開するには を押します。

音声のオン／オフ

こちらの音声を、相手に送信しないようにします。

1 「設定」>「音声オフ」を選択します。

2 通話を再開するには、「設定」>「音声オン」を選択して ◎ を押します。

画面の切り替え

メイン画面とサブ画面の表示内容を、入れ替えます。

1 「設定」>「画面切替」を選択します。
- 相手画像大：メイン画面に相手からの映像を、サブ画面に、こちらの映像を表示します。
- 自分画像大：メイン画面に、こちらの映像を、サブ画面に相手からの映像を表示します。

2 ◎ を押します。

カメラのオン／オフ

TV電話中に、こちらの映像の送信を中断／再開することができます。(→P85)

1 こちらの映像の送信を中断するには、「設定」>「カメラオフ」を選択します。

2 こちらの映像の送信を再開するには、「設定」>「カメラオン」を選択します。

アウトカメラ／インカメラ

相手に送信する映像を撮影するカメラを切り替えます。

1 撮影をアウトカメラにするには、「設定」>「アウトカメラ」を選択します。

2 撮影をインカメラにするには、「設定」>「インカメラ」を選択します。

ピクチャインピクチャ

サブ画面をメイン画面のどの位置に表示するかを設定します。

1 TV電話中に、「設定」>「ピクチャインピクチャ」を選択します。

- オフ：サブ画面を表示しません。
- 左上：サブ画面をメイン画面の左上に表示します。
- 右上：サブ画面をメイン画面の右上に表示します。
- 左下：サブ画面をメイン画面の左下に表示します。
- 右下：サブ画面をメイン画面の右下に表示します。

2 ◎ を押します。

画質

相手に送信する映像の画質を選択します。

1 TV電話中に、「設定」>「画質」を選択します。

- 画質優先：動きが少ない場合に有効です。
- 動き優先：動きが多い場合に有効です。

2 ◎ を押します。

録画

相手の映像を録画します。

1 録画を開始するには [key] を押します。

2 録画を停止するには [key] を押します。

注 録画した映像は、データフォルダの「動画」に保存されます。

ファイルの再生

データフォルダに保存されている動画や画像を、相手側で再生させることができます。

1 「設定」>「ファイルの再生」を選択して「データフォルダ」にアクセスします。

2 再生したいファイルを選択します。

3 ◎ を押します。

4 再生を中断するには、「設定」>「ファイルを閉じる」を選択します。

その他のアプリケーション

TV電話中に、電話帳、SMSまたは通話履歴を使用できます。

1 通話中に、「設定」>「その他のアプリケーション」を選択します。

- 電話帳 :「電話帳」画面に切り替えます。
- SMS :「SMS」画面に切り替えます。
- 通話履歴 :「通話履歴」画面に切り替えます。(→ P50)

2 ◎ を押します。

TV電話設定

「ピクチャインピクチャ」や「画面切替」、「画質」、「カメラ」、「音声」、「音声モードで自動発信」、「送信画像設定」、「自動応答」など、TV電話機能の設定を変更できます。

ピクチャインピクチャ

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV 電話」>「ピクチャインピクチャ」を選択します。

3 サブ画面を表示する位置を選択します。(→ P82)

画面の切り替え

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV電話」>「画面切替」を選択します。

3 「相手画像大」または「自分画像大」を選択します。(→ P81)

画質

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV電話」>「画質」を選択します。

3 「画質優先」または「動き優先」を選択します。(→ P82)

カメラ

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV電話」>「カメラ」を選択します。

- オン： TV電話に応答したとき、こちらの映像を送信します。
- オフ：TV 電話に応答したとき、映像の送信を行わないよう設定します。（ご購入時は、オフに設定されています。）

音声

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV電話」>「音声」を選択します。

- オン：TV電話に応答したとき、音声の送信を行います。（ご購入時は、オンに設定されています。）
- オフ：TV電話に応答したとき、音声の送信を行いません。

音声モードで自動発信

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV 電話」>「音声モードで自動発信」を選択します。
- オン : 音声モードでの自動発信を有効にします。相手の電話機が TV 電話に対応していない場合は、自動的に音声発信を行います。
- オフ : 自動発信を行いません。

送信画像設定

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV電話」>「送信画像設定」を選択します。
- 画像の選択 : データフォルダから画像を選択します。
- デフォルト画像を使用 : お買い上げ時に設定されている画像を使用します。

3 「画像の選択」を選択した場合は、「データフォルダ」で画像を選択して ◎ を押します。

自動応答

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「TV電話」>「自動応答」を選択します。
- オン : 自動応答機能を有効にします。TV電話の着信を受けると、5秒後に自動的に応答します。
- オフ : 自動応答機能をオフにします。

メールについて

メールまたは SMS を利用して、メッセージを送受信できます。

項目	説　明
メール	メールでは、メール機能に対応したイー・モバイル携帯電話もしくは他社の携帯電話やパソコンとの間で、文字や画像、ミュージックなどのデータを送受信できます。
SMS	SMS では、SMS に対応するイー・モバイル携帯電話同士でメッセージを送受信できます。

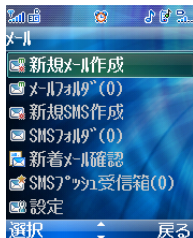
- メール／ SMS 通信料金の詳細については、お問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。
- メールのご利用には、別途お申込みが必要です。

入力可能な項目と文字数制限

項目	メール	SMS
メールアドレス	半角で 128 文字まで、アドレスは 10 件まで	―
電話番号	―	半角で20文字まで、宛先は 100 件まで
件名	全角、半角を問わず 40 文字まで	―
本文	全角、半角を問わず 1024 文字まで	全角 70 文字（半角 160 文字）まで
添付ファイル	最大 10 ファイルまで	―

- 件名、本文、添付ファイルを含めて、メールのサイズは、500KB を超えることはできません。添付ファイルのサイズに応じて、最大文字数が変わります。

メールのメニュー

メールは、種類や状態によって異なるフォルダに保存されます。

メニュー	説　明
新規メール作成	新しいメールを作成します。
メールフォルダ	• 受信箱：受信したメールが保存されます。 • 下書き：下書きのメールまたは送信に失敗したメールが保存されます。 • 送信済み：送信済みのメールが保存されます。 • テンプレート：メールテンプレートが保存されます。
新規 SMS 作成	新しい SMS を作成します。
SMS フォルダ	• 受信箱：受信した SMS が保存されます。 • 下書き：下書きの SMS または送信に失敗した SMS が保存されます。 • 送信済み：送信済みの SMS が保存されます。
新着メール確認	新着メールを確認するため、サーバに接続します。

メニュー	説　明
SMS プッシュ受信箱	プッシュメールが保存されます。
設定	メールもしくは SMS に関する各種設定を行います。

アイコンの説明

メールのアイコン

アイコン	説　明
	メールフォルダ -「受信箱」フォルダ内の既読メール。
	メールフォルダ - 「受信箱」フォルダ内の未読メール。
	メールフォルダ -「受信箱」フォルダ内の既読の通知または配信メール。
	メールフォルダ - 「受信箱」フォルダ内の未読の通知または配信メール。

アイコン	説　明
	「下書き」フォルダ内の下書きメール、または送信に失敗したメール。
	「送信済み」フォルダ内の送信済みメール。
	「テンプレート」フォルダ内に保存されたテンプレート。

SMS メールのアイコン

アイコン	説　明
	SMS フォルダ -「受信箱」フォルダ内の本体メモリにある既読メール。
	SMS フォルダ -「受信箱」フォルダ内の本体メモリにある未読メール。
	SMS フォルダ -「受信箱」フォルダ内の EM chip メモリにある既読メール。
	SMS フォルダ -「受信箱」フォルダ内の EM chip メモリにある未読メール。
	SMS フォルダ -「受信箱」フォルダ内の既読配信レポート。

アイコン	説　明
	SMS フォルダ -「受信箱」フォルダ内の未読配信レポート。
	SMS フォルダ -「下書き」フォルダ内の本体に保存されたメール。
	SMS フォルダ -「下書き」フォルダ内の EM chip に保存されたメール。
	SMS フォルダ -「送信済み」フォルダ内の、本体に保存された送信済みメール。
	SMS フォルダ -「送信済み」フォルダ内の EM chip に保存された送信済みメール。

プッシュメールのアイコン

アイコン	説　明
	「SMS プッシュ受信箱」内の既読プッシュメール
	「SMS プッシュ受信箱」内の未読プッシュメール

メール

メールの作成と送信

- 入力可能な項目と文字数制限について。(→ P87)
- 文字入力モード。(→ P55)

アイコン	説　明
	宛先のメールアドレス
	Cc 送信するメールアドレス
	Bcc 送信するメールアドレス

アイコン	説　明
	メールの件名
	メールの内容

1 「メインメニュー」>「メール」>「新規メール作成」を選択します。

2 「メール編集」画面で、「宛先」、「Cc」、および「Bcc」のアドレスを入力します。(→ P91)

3 「件名」を選択して件名を入力し、◎ を押します。

4 「内容」を選択して、本文および添付ファイルを編集します。(→ P92)

5 「メール編集」画面に戻り、「設定」を選択します。

- 送信：メールを送信します。
- 下書きフォルダに保存：メールを「下書き」フォルダに保存します。
- テンプレートに追加：メールをテンプレートとして「テンプレート」フォルダに保存します。
- 送信設定：メールの送信に関する設定を変更します。(→ P98)
- サイズ：現在のメールのサイズを表示します。

注

- 「配信レポート」を「オン」に設定すると、メールサーバーから自動的に送信された通知メッセージを受信します。このメッセージを受信することで、相手がメールを受信したことがわかります。(→ P99)
- 本体のメモリ残量が少なくなると、メールを作成、編集、返信または転送することができません。その場合は、不要なメールを削除してください。
- 宛先側の携帯電話の電源がオフになっていたり、電波の弱い場所にあったりする場合、メールはメールセンターに保管されます。

◆ 宛先リストの編集

宛先、Cc、および Bcc のメールアドレスを追加します。Bccのアドレスは、受信者側には表示されません。

1 「メール編集」画面で、「宛先」、「Cc」、または「Bcc」を選択して ◎ を押します。

2 宛先のアドレスを入力します。

- 宛先リストで ◎ を押してメールアドレスを直接入力します。
- 宛先リストから、「設定」＞「電話帳参照」＞を選択して連絡先を検索します。(→ P73)

  ◎ を押して連絡先を選択します。
- 宛先リストから、「設定」＞「グループ参照」を選択します。◎ を押してグループを選択します。

3 「戻る」を選択すると「メール編集」画面に戻ります。

注
- 「電話帳参照」で連絡先を検索する際は、メールアドレスが登録されているすべての連絡先情報を検索できます。
- 「グループ参照」で連絡先を追加する際に、連絡先にメールアドレスが登録されていないと、その連絡先は宛先のアドレスに追加できません。

- 「宛先」、「Cc」および「Bcc」画面で「設定」を選択し、「宛先に設定」、「Cc に設定」または「Bcc に設定」を選択すると、選択したアドレスの送信設定を変更できます。
- 「宛先」、「Cc」および「Bcc」画面で「設定」を選択し、「削除」または「全て削除」を選択すると、1 つまたは全てのメールアドレスを削除できます。

◆ メールの編集

1 「メール編集」画面で、「内容」を選択して ◎ を押します。

2 を選択してメール本文を編集します。

3 を選択して「データフォルダ」の画像ファイルまたは動画を選択できます。

4 を選択して「データフォルダ」の音楽ファイルを選択できます。

5 複数のページがある場合は を選択し、◎ を押してページを切り替えます。

- 新しいページを追加するには、「メール編集」画面で「設定」>「ページ挿入」を選択します。

6 を選択し、を押して現在のページの再生時間を調整します。

- メールを確認するには、「設定」>「プレビュー」を選択します。

7 「戻る」を選択します。

注
- 同一ページ内に添付できるのは動画ファイルか音声ファイルのどちらかのみです。同時に両方は添付できません。
- ファイル形式やサイズによっては、添付できない場合があります。
- 著作権の設定されているファイルは送信できません。

メールの受信

メールを受信すると、通知メッセージが表示されます。

メールを受信すると、本機には次のように表示されます。

1 通知メッセージが表示されている時に、を押してメールの「受信箱」を開きます。

2 を押して表示するメールを選択し、を押します。

注
- 「受信箱」、「下書き」、「送信済み」および「テンプレート」には、それぞれの合計が200 件になるまでメールを保存できます。

- 「メールフォルダ」がメールで一杯になったときに新しいメールを受信すると アイコンが点滅し、通知ダイアログボックスが表示されます。この場合は、「受信箱」から不要なメールを削除する必要があります。

メールを表示する

1 「メインメニュー」>「メール」を選択します。

2 「メールフォルダ」を選択し、◎を押して「受信箱」を開きます。

3 ◎を押して表示するメールを選択し、◎を押します。

- 「メールフォルダ」の「受信箱」のアイコンに関する説明。(→ P89)

4 メールの表示中に「停止」を選択すると、メールの再生を停止することができます。

5 メールの再生の停止中に「設定」を選択すると、次の操作をすることができます。

- メールで返信 :「メール編集」画面を開きます。(→ P90)
- SMS 返信 : メールの送信者が電話帳に登録されている場合に、SMS で返信するために「SMS 編集」画面を開きます。(→ P100)

注 電話帳に送信者の電話番号が登録されていない場合は、「SMS 編集」画面は開きません。

- 転送 :「メール編集」を開いてメールを転送します。(→ P95)
- 発信前編集 :「番号編集」を開いてメールの送信者に電話をかけることができます。(→ P96)
- 次ページ : 次のページを再生します。
- 前ページ : 前のページを再生します。
- 巻き戻し : 最初のページに戻ります。

- 保存：を押して項目を選択し、メールで選択した項目を「データフォルダ」／「その他」に保存します。
- オブジェクトリスト：メールのオブジェクトリスト一覧から必要なファイルを選択し、「保存」を押すと、ファイル形式にあったフォルダに保存されます。
- 番号保存：メールから取得した電話番号を、本体、EM chip または電話帳の既存の登録連絡先に保存します。
- URL抽出：メールから取得したURLに接続します。
- E メールアドレス保存：メールから取得したメールアドレスを、本体または EM chip の電話帳に新規保存したり、既存の連絡先に追加保存します。

メールの返信

1 「メールフォルダ」の「受信箱」で、を押してメールを選択します。

2 「設定」>「メールで返信」または「SMS で返信」を選択します。

3 「メール編集」画面でメールを編集し、を押します。

注　メールの表示中に「設定」>「メールで返信」または「SMS 返信」を選択しても、表示中のメールに対して返信できます。（→ P94）

メールの転送

1 「メールフォルダ」の「受信箱」または「送信済み」でを押してメールを選択します。

2 「設定」>「転送」を選択します。

3 を押して「メール編集」画面を開き、メールを編集します。

注　メールの表示中に「設定」>「転送」を選択して表示中のメールを転送することもできます。（→ P94）

発信前編集

1 「メールフォルダ」の「受信箱」で、◎を押してメールを選択します。

2 「設定」>「発信前編集」を選択します。

3 ◯を押して電話をかけます。

注
- メールの表示中に「設定」>「発信前編集」を選択して、送信者の番号に電話をかけることも出来ます。(→ P94)
- 発信者の電話番号がない場合、「発信前編集」は使用できません。

メールアドレスを保存する

1 「メールフォルダ」の「受信箱」で、◎を押してメールを選択します。

2 「設定」>「電話帳に保存」を選択します。

- 本体に保存 : 送信者のメールアドレスを本体に保存します。
- EM chip に保存 : 送信者のメールアドレスを EM chip に保存します。
- 既存のアイテムに追加 : 送信者のメールアドレスを既存の連絡先に保存します。

フォルダ

メールには、４つのフォルダ（受信箱、下書き、送信済み、テンプレート）の他に、７つの追加フォルダがあります。追加フォルダの名前を変更して、メールをそのフォルダに移動することができます。

◆ 追加フォルダの名前変更

1 「受信箱」、「送信済み」、「テンプレート」の各フォルダ画面にて、「設定」>「フォルダ」を選択します。

2 「設定」>「名前変更」を選択します。

3 フォルダ名を入力し、◎を押します。

注 「受信箱」、「下書き」、「送信済み」、「テンプレート」フォルダの名前は変更できません。

◆ フォルダ間でのメールの移動

1 「受信箱」または「送信済み」フォルダを開きます。

2 追加フォルダに移動するメールを選択し、「設定」>「フォルダに移動」を選択します。

3 追加フォルダを選択して ◎ を押します。

注 追加フォルダから別の追加フォルダにメールを移動することもできます。操作は手順２と同じです。

メールの削除

メールやメール通知メッセージを削除できます。

1 「メールフォルダ」の任意のフォルダで、◎ を押してメールを選択します。

2 「設定」>「削除」を選択し、◎ を押します。

3 ⌐ を押して「はい」を選択して下さい。

◆ 一度に複数のメールを削除する

1 「メールフォルダ」の任意のフォルダで、◎ を押してメールを選択します。

2 を押してメールをマークします。右のアイコンが ☑ に変わります。

- メールのマークを解除するには、 を再度押します。右のアイコンが □ に戻ります。

3 「設定」>「削除」を選択し、 を押します。

4 を押して「はい」を選択して下さい。

◆ **フォルダのすべてのメールを削除する**

1 「メール」の任意のフォルダを開きます。

2 「設定」>「全てをマーク」を選択します。右側のすべてのメールのアイコンが ☑ に変わります。

- マークを解除する場合は、「設定」>「マーク解除」を選択します。また、全てを解除する場合は、「設定」>「マーク全解除」を選択します。マークが解除されるとアイコンが□に戻ります。

3 「設定」>「削除」を選択し、 を押します。

4 を押して「はい」を選択して下さい。

メッセージの並べ替え

「メールフォルダ」の任意のフォルダで、「設定」>「並べ替え」を選択します。

- 送信者 : 送信者のメールアドレスを基準にメールを並べ替えます。(「受信箱」フォルダのみ)
- 宛先 : 宛先のメールアドレスを基準にメールを並べ替えます。(「受信箱」フォルダ以外)
- 日付 : 日付を基準にメールを並べ替えます。

メモリ使用状況を表示する

「メールフォルダ」の任意のフォルダで、「設定」>「メモリ使用状況」を選択します。

- 「受信箱」、「下書き」、「送信済み」、「テンプレート」、「フォルダ」および各フォルダの合計を含む、メールのメモリ使用状況が表示されます。

メール設定

「メール」画面で、「設定」>「メール」を選択すると、メールに関する設定を変更できます。設定には、次のサブメニューがあります。

メニュー	説　明
送信	メールの送信に関する設定をします。(→ P99)
受信	メールの受信に関する設定をします。(→ P99)
アクセスポイント	アクセスポイントはあらかじめ設定されています。
WAP ゲートウェイ	WAP ゲートウェイはあらかじめ設定されています。
メールセンター	メールセンターはあらかじめ設定されています。
接続タイプ	メールの接続タイプを設定します。

注　設定済みの設定を誤って削除したり変更した場合は、お問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。

◆ 送信

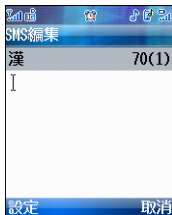
- 有効期間 : メールが送信されてからメールサーバーに保管される期間を設定します。
- 配信レポート : 配信レポートを受け付けるかどうかを設定します。
- 送信制限 : 送信するメールのサイズ制限を設定します。
- 送信時保存 : メールを送信後に送信済みフォルダに保存するかどうかを設定します。

◆ 受信

- 配信レポート送信 :「オン」と「オフ」を設定します。このモードが有効（オン）の場合、自分がメールを受信したことを示すレポートが送信者に送信されます。
- 受信制限 : 受信可能なメールのサイズを制限します。
- 自動受信 : 自動的にメールを受信するかどうかを設定します。

SMS

SMS の作成と送信

- 入力可能な項目と文字数制限について。(→ P87)
- 文字入力モードについて。(→ P55)

1 「メインメニュー」>「メール」>「新規 SMS 作成」を選択します。

- 「メール」>「SMSフォルダ」>「下書き」／「受信箱」>「設定」>「新規作成」を選択します。

2 「SMS 編集」画面で、SMS を入力します。「設定」から次の項目を選択します。

- 送信 : 宛先を入力するため「番号編集」画面に切り替えます。「番号編集」画面の操作については、手順 3 を参照してください。
- 全角／半角 : 全角と半角を切り替えます。
- 番号引用 : 本体または EM chip に保存された電話番号を挿入できます。
- 定型文 : 定型文かインターネット用語を選択して挿入できます。
- 予測変換設定 : 予測変換機能をオンまたはオフにします。(→ P63)
- 学習履歴初期化 : 学習した単語の履歴を初期化します。(→ P65)
- 入力モード : SMS の内容を入力する際の文字入力モードを選択できます。(→ P55)
- ユーザー辞書 : ユーザーが任意の単語や文を登録できます。(→ P65)

3 SMS を編集した後に、◎ を押して「番号編集」画面を開きます。

- 電話番号を入力します。

- 「設定」>「電話帳」を選択して「検索」画面を開き、選択します。複数選択する場合は繰り返します。(→ P73)
- グループを選択するには「設定」>「グループ」を選択します。

4 「番号編集」で、◎を押すか、「設定」>「送信」を選択します。

- SMS を保存するには「設定」>「保存」を選択します。

注 「受信レポート」を「オン」に設定すると、SMS センターから通知メッセージを受信します。このメッセージを受信することで、相手がSMSを受信したことがわかります。「受信レポート」を設定します。(→P106)

SMS を受信する

SMS を受信すると、SMS 通知メッセージが最初に表示されます。

SMS を受信すると、次のように表示されます。

1 SMS通知メッセージが表示されている時に、◎を押して SMS の「受信箱」を開きます。

2 表示された SMS を選択し、◎を押します。

注
- 本体（「受信箱」、「下書き」および「送信済み」）に保存できる SMS は合計 500 件です。

- 「SMSフォルダ」の空き容量がないときに新しい SMS が着信すると、 が点滅し、通知ダイアログボックスが表示されます。この場合は、不要なメールを削除する必要があります。(→P104)

SMS を表示する

1 「メール」メニューから「SMSフォルダ」を選択し、を「受信箱」を開きます。

2 を押して表示するSMSを選択し、 を押します。

- 「SMSフォルダ」のアイコンの説明。(→P89)

3 SMS の表示中に、「設定」を選択して次の操作を行います。

- 返信 : 「SMS 編集」画面を開きます。(→ P100)
- 転送 : 「SMS 編集」画面を開き、SMS を転送します。(→ P103)
- 発信前編集 : 「番号編集」画面を開き、選択した SMS の送信者に電話をかけることができます。
- 番号保存 : SMS から取得した電話番号を、本体や EM chip の電話帳に新規登録、又は既存の連絡先に保存することができます。(→ P103)
- URL 抽出 : SMS から取得した URL に接続します。
- E メールアドレス保存 : SMS から取得したメールアドレスを、本体や EM chip、または電話帳の既存の連絡先に保存します。

SMS を返信する

1 SMS の「受信箱」で、 を押して SMS を選択します。

2 「設定」>「返信」を選択します。

3 「SMS 編集」画面で SMS を編集します。

注 SMS の表示中に「設定」>「返信」を選択して、SMS を返信することもできます。(→ P102)

SMS を転送する

1 「SMS フォルダ」の任意のフォルダで、を押してSMSを選択します。

2 「設定」>「転送」を選択します。

3 を押して「SMS 編集」画面を開き、SMS を編集します。

注 SMS の表示中に「設定」>「転送」を選択して、表示中の SMS を転送することもできます。(→ P102)

発信前編集

1 「SMSフォルダ」の「受信箱」または「送信済み」で、を押して SMS を選択します。

2 「設定」>「発信前編集」を選択します。

3 「番号編集」画面でを押し、電話をかけます。

SMS の表示中に「設定」>「発信前編集」を選択して、送信者の番号に電話をかけることもできます。(→ P102)

番号を保存する

1 「SMSフォルダ」の「受信箱」または「送信済み」で、を押してSMSを選択します。

2 「設定」>「番号保存」を選択します。

- 本体に保存 : 送信者の電話番号を本体に保存します。
  - 携帯電話 : 送信者の電話番号を携帯電話番号として保存します。
  - 勤務先番号 : 送信者の電話番号を勤務先の電話番号として保存します。
  - 自宅の番号 : 送信者の電話番号を自宅の電話番号として保存します。
- EM chip に保存 : 送信者の電話番号を EM chip に保存します。

• 既存のアイテムに追加 : 送信者の電話番号を既存の連絡先に保存します。

• SMS の表示中に「設定」>「番号保存」を選択しても、手順 2 と同様の手順で番号を保存することができます。

• 連絡先の作成。(→ P69)

EM chip に SMS をコピーする

本体から EM chip に SMS をコピーできます。

1 「SMS フォルダ」の任意のフォルダで、を押して本体に保存されているSMSを選択します。

• SMS の前に付いているアイコンによって、保存場所が異なります。アイコンの説明。(→ P89)

• を押します。左側のアイコンが ☑ に変わり、複数の SMS をマークすることができます。

2 「設定」>「EM chip にコピー」を選択します。

SMS を削除する

SMS や SMS 受信レポートを削除できます。

◆ SMS または SMS 受信レポートを削除する

1 「SMSフォルダ」の「受信箱」か「送信済み」のフォルダで、を押してSMSを選択します。

2 「設定」>「削除」を選択し、を押します。

3 を押して「はい」を選択して下さい。

◆ 複数の SMS または SMS 受信レポートを削除する

1 「SMS フォルダ」の任意のフォルダで、を押して削除対象のメールを選択します。

2 を押して SMS をマークします。右側のアイコンが ☑ に変わり、複数のメールを削除対象としてマークすることができます。

• もう一度 を押すと、選択した SMS のマークが解除され、アイコンが □ に戻ります。

3 「設定」>「削除」を選択し、を押します。

4 [key] を押して「はい」を選択してください。

◆ **SMS フォルダ内のすべての SMS を削除する**

1 「SMSフォルダ」の任意のフォルダを開きます。

2 「設定」>「マーク／マーク解除」>「全てをマーク」を選択します。すべてのアイコンが☑に変わります。

- すべてのSMSのマークを解除するには、「設定」>「マーク／マーク解除」>「マーク全解除」を選択します。すべてのアイコンが□に戻ります。
- 現在ハイライトされている SMS のマークを解除するには「設定」>「マーク解除」を選択します。アイコンが□に戻ります。

3 「設定」>「削除」を選択します。

4 [key] を押して「はい」を選択してください。

SMS のメモリ使用状況を表示する

1 「SMS フォルダ」の任意のフォルダで、「設定」>「メモリ使用状況」を選択します。

- 保存されているメールの数や全体の容量など、本体とEM chipのメモリ使用状況が表示されます。

SMS 設定

「メール」画面で、「設定」>「SMS」を選択すると、SMS に関連する各種設定ができます。

メニュー	説　明
SMS センター	SMSセンターの番号をEM chip もしくは、本体から設定することができます。
有効期間	メールの送信後に SMS センターに保管される期間を設定します。
自動保存	メールの送信時に「送信済み」に自動的にメールを保存するかどうかを設定できます。

■ 新着メール確認

メニュー	説　明
保存先	新しく作成したメール、受信したメール、および送信したメールを保存する場所を設定します。
Sign 署名	メールに署名を付けて送信するかどうかを設定します。新しいメールを作成するときに署名を編集できます。
受信レポート表示	この項目は「オン」または「オフ」に設定できます。「オン」に設定すると、メールが宛先に届いたことを示す情報が自分に送信されます。

注　設定済みの設定を誤って削除したり変更した場合は、お問い合わせ先（裏表紙 内側 ）までご連絡ください。

新着メール確認

「メール」画面で、「新着メール確認」を選択します。設定済みのイー・モバイル ウェブサイトに接続して新着メールを確認します。

SMS プッシュ受信箱

プッシュメールを表示する

1 「メール」画面で、「SMS プッシュ受信箱」を選択して ◎ を押します。

2 ◎ を押してプッシュメールを選択し、◎ を押します。

- 「SMS プッシュ受信箱」のアイコンの説明。(→ P89)
- 「設定」>「読込」を選択すると、ブラウザが起動します。プッシュメールで指定された URL に接続して詳細を表示します。

SMS プッシュ受信箱の設定

「メール」画面で、「設定」>「プッシュメール」を選択すると、プッシュメールに関連する各種設定ができます。

メニュー	説　明
プッシュメッセージ設定	受け入れ可能なプッシュメールを設定できます。 • 全て受け入れる：すべてのプッシュメールを受け入れるように設定します。 • 信頼済みを受け入れる：信頼済みのプッシュメールのみを受け入れるように設定します。 • メールプッシュを受け入れる：メールで通知するメールプッシュのみを受け入れるように設定します。 • 受け入れない：全てのプッシュメールを受け入れません。
プッシュSL 設定	「オン」または「オフ」を選択して、プッシュ SL 機能を有効または無効にできます。

イー・モバイルは、このサービスを提供していません。（2008 年 4 月現在）

自分のメールアドレスの確認

「メール」画面で、「設定」>「メール設定ウェブ」を選択します。メール設定ウェブのサイトでは、自分のメールアドレスを確認できます。

留守番電話番号

「メール」画面で、「設定」>「留守番電話番号」を選択して留守番電話番号を設定します。留守番電話サービスについてはお問い合わせ先までご連絡ください。

待受画面で 1 を押し続けると、本機が自動的に留守番電話サービスセンターに発信します。

定型文やインターネット用語

本機には、電話に出られない場合にメッセージの送信や自動応答を行う際に一般的に使用される定型文が、あらかじめ設定されています。

文は必要に応じて編集できます。

1 「メール」画面で、「設定」>「定型文」／「インターネット用語」を選択します。

2 「定型文」または「インターネット用語」画面で、◎を押して文字列を選択します。

3 「変更」を選択して「定型文編集」を開きます。

ブラウザについて

ブラウザを使用するとインターネットを楽しめます。「メインメニュー」>「ブラウザ」を選択してブラウザ画面が表示されます。

キャッシュメモリ

読み出された情報は一時的にキャッシュメモリに保存されます。

- 以前に表示したページはキャッシュメモリから表示されます。最新の情報を表示するためには情報を更新します。(→P112)
- キャッシュメモリに保存された情報は消去できます。(→P113)
- ネットワークの接続が切断されるか、または本機の電源がオフにされてもキャッシュメモリの中に情報は残ります。EM chip を変更すると情報は自動的に消去されます。

SSL/TLS

SSL (Secure Socket Layer) 及び TLS (Transport Layer Security) は、クレジットカード番号のような重要で機密性の高い情報を安全にインターネットで送信するための暗号化された通信方式です。電子認証は本機では予め設定されています。

セキュリティの警告が表示された場合、そのページを開くことにより使用条件に同意したことになります。イー・モバイルは SSL および TLS の使用に関連するいかなる損害に対しても責任を負いません。

EMnet

1 「メインメニュー」>「ブラウザ」を選択します。

2 を押して「EMnet」を選択し、予め設定されたウェブページへアクセスします。

3 を押してリンクを選択し を押してアクセスします。

- カーソルの移動：を押してカーソルを左右に移動するか、またはを押してカーソルを次の行または1つ前の行へ移動します。
- ページのスクロール：ページの内容が一画面に表示しきれていない場合は画面の右にスクロールバーが表示されます。または、サイドにあるボリュームボタンを押してページを上下にスクロールします。
- 前のページ／次のページへ移動：以前に表示されたページは一時的にキャッシュメモリに保存されています。を押して前のページに戻ります。を押しても表示できない場合があります。「設定」>「次のページに進む」を選択して次のページに進みます。

4 ウェブページ閲覧中に、「設定」を選択して各種操作を実行できます。(→P112)

注

- 待受画面でを押すと予め設定されたウェブページへアクセスします。
- ウェブページ閲覧中に、「設定」>「EMnet」を選択してホームページにアクセスします。
- ページによってはアクセス時にユーザー認証が要求される場合があります。要求された場合、ID とパスワードを入力してを押します。
- アイコンバー上のが点滅しているとき、インターネットに接続中です。

URL直接入力

1 「メインメニュー」>「ブラウザ」を選択します。

2 を押して「URL 直接入力」を選択し、を押します。

3 URL を入力します。

4 を押して URL にアクセスします。

URL直接入力の履歴がある場合、を押して入力したURLを選択し、設定を選択すると次の操作を実行できます。

- 接続：URL へアクセス
- 編集：URL を編集
- 削除：選択した URL を削除
- 全て削除：登録された全ての URL を削除

注　ウェブページ閲覧中に、「URL 直接入力」ができます。(→ P112)

ウェブページ閲覧中の操作と設定

ブックマークの接続

1 「メインメニュー」>「ブラウザ」を選択します。

2 を押して「ブックマーク」を選択し、次に を押します。

3 を押してブックマークを選択します。 を押すか、「設定」>「接続」を選択してアクセスします。

ブックマークの追加

1 「メインメニュー」>「ブラウザ」を選択します。

2 を押して「ブックマーク」を選択し、次に を押します。

3 「設定」>「追加」を選択してブックマークを作成します。

4 ブックマークの「タイトル」と「アドレス」を入力します。 を押して設定を保存します。

ブックマークの編集

1 「メインメニュー」>「ブラウザ」を選択します。

2 を押して「ブックマーク」を選択し、次に を押します。

3 を押してブックマークを選択し、次に「設定」>「編集」を選択して編集します。

ブックマークの削除

1 「メインメニュー」>「ブラウザ」を選択します。

2 を押して「ブックマーク」を選択し、次に を押します。

3 を押してブックマークを選択し、次に「設定」>「削除」を選択するか、または を押して削除します。

ウェブページ閲覧中の操作と設定

ウェブページ閲覧中の操作

ウェブページ閲覧中に、「設定」を選択すると次の操作ができます。

項目	説　明
EMnet（ホームページ）	ホームページにアクセスする。(→ P115)
次のページに進む	既に閲覧済みの次のページへ進みます。
ブックマーク	ブックマークを表示します。
URL 直接入力	URL を直接入力して接続する。
最近開いたページ	最近閲覧したページにアクセスします。10 件の履歴が保存できます。
ページ保存	閲覧中のウェブページを「保存されたページ」に保存します。
アイテム保存	閲覧中のウェブページ内のアイテムを本体のフォルダに保存します。
更新	現在閲覧中のウェブページを更新します。
保存されたページ	保存されたページをオフラインで閲覧します。「設定」>「接続」を選択すると接続します。「設定」>「削除」を選択するとページを削除できます。
設定	ウェブページの閲覧に関する設定を変更できます。(→ P113)
終了	ブラウザを終了します。

注　ホームページの設定は予め設定されたホームページの名前と同じです。(→ P113)

ウェブページ閲覧中の設定

ウェブページ閲覧中に、「設定」>「設定」を選択すると次の操作ができます。

アイコン	メニュー名	説　明
	ホームページとして保存	現在閲覧中のページをホームページとして保存します。キーを押してタイトルと、アドレスを編集をすることができます。
	マルチメディア	画像を表示するか、ミュージックを再生するかを設定します。 • 画像 > オン／オフ : ウェブページ内の画像を表示するかどうか設定します。 • ミュージック>オン／オフ : ウェブページ内のミュージックの再生をするかどうか設定します。
	キャッシュ	キャッシュのオン／オフの設定およびキャッシュを消去します。 • キャッシュ > オン／オフ : キャッシュを有効または無効にします。 • キャッシュをクリア > はい／いいえ : キャッシュ情報を消去します。

ウェブページ閲覧中の操作と設定

アイコン	メニュー名	説　明
	Cookie	Cookie のオン／オフの設定および、Cookie を消去します。 • Cookie > オン／オフ : Cookie を有効または無効にします。Cookie がオンのとき、ユーザー情報は自動的に 本体に保存されます。 • Cookie クリア > はい／いいえ : Cookie 情報を消去します。
	セキュリティ	「現在の証明書」、「CA 証明書」および「セッション情報」を表示します。 • 現在の証明書 : SSL/TLS を使用したページの閲覧用。 • CA 証明書 : ご購入の際、本機に予め設定されているセキュリティ証明書。 • セッション情報:SSL/TLSを使用したページの閲覧中のセッション情報。
A	文字コード	「自動」、「UTF-8」、「UCS-2」、「ISO 2022-JP」、「EUC-JP」および「Shift_JIS」を含む文字コードから 1 つを選択します。
	ブラウザ履歴クリア	全ての履歴を消去します。

インターネット設定

インターネットに接続するための設定を行います。

「メインメニュー」>「ブラウザ」>「インターネット設定」>「プロファイル」を選択します。「イー・モバイル」は本製品用に予め設定されたプロファイルを修正することはできません。

プロファイルを作成するには次のようにします。

1 「プロファイル2」～「プロファイル5」のいずれかを選択し、◎を押します。

2 次の 5 つの項目を設定します。

アイコン	メニュー名	説　明
	ホームページ	「タイトル」および「アドレス」を入力します。
	WAP ゲートウェイ	IP アドレス、IP ポート、ユーザー名およびパスワードを入力します。（ユーザー名とパスワードは必要に応じて入力します。）＊
	アクセスポイント	アクセスポイントを選択します。(→ P202)
	接続タイプ	接続タイプを選択します。
	タイムアウト	インターネットに接続するときにタイムアウトするまでの時間（秒）を設定します。設定した時間を超えても接続できなかった場合、自動的に接続は停止されます。

＊詳細はお問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。

インターネット設定

3 「インターネット設定」メニューでは各プロファイルを選択して[..]を押すことにより、次の設定を行うことができます。

- 編集：現在選択されているプロファイルを編集します。
- 選択：現在のプロファイルを選択します。
- 名前変更：現在のプロファイルの名前を変更します。（はじめから登録されている「EMOBILE」の名前は変更できません）

9 カメラ

カメラを使用する前に

本機は 2 つのカメラを備えています。アウトカメラはフリップの外側にあり、インカメラはフリップの内側にあります。それぞれのカメラを使用して写真を撮影したり、動画を撮影できます。アウトカメラは画像解像度 2 メガピクセルをサポートし、インカメラは画像解像度 0.3 メガピクセルをサポートしています。

写真や動画は自動的にデータフォルダ内のピクチャーフォルダ、動画フォルダにそれぞれ保存されます。

写真や動画はメール、または Bluetooth で送ることができます。

写真撮影の際、次の点にご注意ください。

- 写真撮影の前にレンズカバーのほこりや油脂を柔らかい布で拭き取ります。

- 本体が動くと画像がぼける可能性があるので、本製品をしっかりと固定するか、または安定した場所に設置し、タイマーを使用し撮影します。
- レンズを直射日光の方へ向けるとカメラのカラーフィルタが損傷します。

写真撮影／動画撮影のアイコン

ファインダー画面で次のことができます。

アイコン	操　作
（明るさアイコン）	（キー）を押して明るさを調整します。
（ズームアイコン）	（キー）を押してズームインまたはズームアウトします。
（コントラストアイコン）	ボリュームキーを押してコントラストを調整します。

注

- アウトカメラ を使用し、画像サイズを 1600 × 1200 に設定している場合ズームインまたはズームアウト操作はできません。
- インカメラ を使用し、画像サイズを 640 × 480 に設定している場合ズームインまたはズームアウト操作はできません。

写真の撮影

写真撮影

1. カメラキーを押すか、または「メインメニュー」>「エンターテイメント」>「カメラ」を選択してカメラを起動します。
2. 「設定」>「連写設定」>「シングルショット」を選択します。
3. 本体画面はファインダーの役目をします。本体のレンズを撮影したい物へ向けます。
4. ◎を押して写真撮影します。
5. 写真は自動的に「データフォルダ」の「ピクチャー」フォルダに保存されます。
6. ファイル名は自動的に IMG_0001.JPG から順番に付けられます。

写真撮影した後、「設定」を選択して次の操作ができます。

- 送信：写真をメールまたは Bluetooth 経由で送信します。
- 設定 : 写真を待受画面または電話帳の画像として設定します。
- 編集：写真を編集します。
- 削除：写真を削除します。

メニュー機能概要

ファインダー画面で設定を選択して次の操作から選択できます。

設定	説　明
ビデオカメラ	動画を録画します。
フレーム	写真のフレームを選択します。
通常表示／全画面表示	ファインダーサイズを設定します。
アルバムに移動	データフォルダ／ピクチャーにアクセスして写真を表示します。

設定	説　明
ホワイトバランス	以下のモードが準備されています。 • 自動 • 蛍光灯 • 白熱灯 • 屋外 • 屋内 • ナイトモード
インカメラ／アウトカメラ	インカメラとアウトカメラを切り替えます。
連写設定	撮影モードを設定します。 • シングルショット • 4 ショット • 9 ショット
セルフタイマー	10 秒のセルフタイマー撮影を設定します。
設定	カメラ機能の設定を変更します。

連写設定

ファインダー画面で「設定」>「連写設定」を選択して撮影モードを設定できます。

カメラには「シングルショット」、「4 ショット」および「9 ショット」の、3 つの連写設定があります。

モード	説　明	画像サイズ
シングルショット	1 枚の写真を撮影します。	W1600 × H1200 W1280 × H1024 W1280 × H960 W1024 × H768 W800 × H600 W640 × H480 W320 × H240 W160 × H120 本体 LCD サイズ
4ショット	4 枚の写真を連写します。	W320 × H240 W160 × H120 本体 LCD サイズ

モード	説　明	画像サイズ
9 ショット	9 枚の写真を連写します。	W320 × H240 W160 × H120 本体 LCD サイズ

連写

1 カメラキーを押すか、または「メインメニュー」>「エンターテイメント」>「カメラ」を選択してカメラを起動します。

2 「設定」>「連写設定」>「4 ショット」／「9 ショット」を選択します。

3 本体画面はファインダーの役目をします。本体のレンズを撮影したい物へ向けます。

4 ◎ を押します。連続して 4 ショットまたは 9 ショット撮影します。

5 写真は自動的に「データフォルダ」の「ピクチャー」フォルダに保存されます。

注 本機を閉じると連写できません。

動画の撮影

動画の撮影

1 カメラキーを押すか、または「エンターテイメント」>「カメラ」を選択してカメラを起動します。

2 「設定」>「ビデオカメラ」を選択してビデオカメラを起動します。

3 本体画面はファインダーの役目をします。本体のレンズを撮影したい物へ向けます。

4 ◎を押してビデオ録画を開始します。

録画の間、次の操作ができます。

- 一時停止／録画：一時停止、または録画を再開します。
- 停止／戻る：録画を停止します。

5 動画は自動的に「データフォルダ」の「動画」フォルダに保存されます。

メニュー機能概要

ファインダー画面で設定を選択して次の操作から選択できます。

設定	説　明
カメラ	カメラを起動します。
録画	ビデオ録画を開始します。
ズーム	ズームインまたはズームアウトします。※画像サイズ128x96の時のみ
インカメラ／アウトカメラ	アウトカメラとインカメラを切り替えます。
アルバムに移動	「データフォルダ」／「動画」ディレクトリにアクセスして動画を表示します。
設定	ビデオカメラ機能の関連設定を変更します。
利用可能なメモリ	利用可能なメモリおよび動画の継続時間を表示します。

カメラ設定

カメラ設定

1. カメラキーを押すか、または「エンターテイメント」>「カメラ」を選択してカメラを起動します。
2. 「設定」>「設定」を選択します。
次の表から希望の設定を選択します。

項目	説　明
画像サイズ	画像サイズを設定： • 1600 × 1200 • 1280 × 1024 • 1280 × 960 • 1024 × 768 • 800 × 600 • 640 × 480 • 320 × 240 • 160 × 120 • 全画面サイズ
効果	特殊効果の設定： • セピア • モノクロ • カラー

カメラ設定

項目	説　明
画質	画質の設定： • 高 • 中 • 低
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定： • 自動：このモードでカメラは自動的に適切なホワイトバランスを選択します。 • 蛍光灯：蛍光灯の下ではこのモードを選択します。 • 白熱灯：白熱灯の下ではこのモードを選択します。 • 屋外：屋外環境ではこのモードを選択します。 • 屋内：屋内環境ではこのモードを選択します。 • ナイトモード：夜間はこのモードを選択します。
保存先	本体または microSD カードを選択して画像を保存します。
シャッター音	シャッター音の設定： • ダルシット • トラディショナル • Hi
設定リセット	現在のカメラ設定をご購入時の設定に戻します。

ビデオカメラの設定

1. カメラキーを押すか、または「エンターテイメント」>「カメラ」を選択してカメラを起動します。
2. 「設定」>「ビデオカメラ」を選択してビデオカメラを起動します。
3. 「設定」>「設定」を選択します。

項目	説　明
画像サイズ	動画サイズの設定： • 176 × 144 • 128 × 96
画質	動画品質の設定： • 高 • 中 • 低
フレームレート	フレームレートを設定します。フレームレートは動画の滑らかさの設定です。 • 高 • 中 • 低
音声	動画撮影時に音声を録音するかどうか設定します。

項目	説　明
録画時間	動画を録画する時間とサイズを設定します。 • 50KB：動画が 50KB に達すると録画は自動的に停止します。 • 100KB：動画が 100KB に達すると録画は自動的に停止します。 • 200KB：動画が 200KB に達すると録画は自動的に停止します。 • 300KB：動画が 300KB に達すると録画は自動的に停止します。 • 3 分 : 動画が 3 分に達すると録画は自動的に停止します。 • 5 分 : 動画が 5 分に達すると録画は自動的に停止します。 • 制限なし : 動画録画時間に制限はありません。（保存先のメモリ容量によって録画の制限時間は異なります。）
保存先	本体または microSD カードを選択して画像を保存します。

項目	説　明
リセット	現在のビデオカメラ設定をご購入時の設定に戻します。

写真／動画を送信

写真撮影の後、または動画録画の後で、「設定」>「送信」を選択します。

- メールで送信 : 写真または動画をメールで送信します。(→ P90)
- Bluetooth 接続 : 写真または動画を Bluetooth で送信します。(→ P142)

写真を編集する

写真を撮影した後 (→ P119)、「設定」>「編集」を選択して写真を編集できます。

編集設定	説　明
画像切取	画像の一部を切り取って別の画像として保存できます。スクロールキーを押して切り取る部分を選択します。 •「設定」>「切り取り」を選択して、画像の選択された部分は別の画像として保存されます。 •「設定」>「画像サイズ」を選択して、「壁紙」、「サムネイル」、または「フリーサイズ」を選択できます。

編集設定	説　明
テキスト追加	テキストを画像に挿入できます。 •「設定」>「入力」を選択します。画像上に表示させるテキストを入力できます。 •「設定」>「ズーム」を選択します。テキストエリアのサイズを変更できます。またはテキストボックスを任意の場所に移動できます。 •「設定」>「色」を選択します。文字色を設定できます。 •「設定」>「保存」を選択します。テキストが入力された画像が保存されます。
フレーム追加	画像にフレームを追加できます。 「設定」>「選択」を選択します。 追加すべきフレームを選択します。 「設定」>「保存」を選択します。フレームに入った写真が保存されます。
回転	画像を 90 度左右に回転できます。
反転	画像を水平または垂直に反転できます。
ズーム	画像をズームイン／ズームアウトできます。
効果	•「効果」>「コントラスト」を選択して、画像のコントラストを減少または増加できます。 •「効果」>「シャープに」を選択して画像のシャープネスを調整することができます。

写真を編集する

10 メディアプレーヤー

オーディオ & ビデオを再生する前に

保存したオーディオファイルや、ウェブからダウンロードしたり、Bluetooth から受信したオーディオファイルは、データフォルダのミュージックフォルダの中に保存されています。

保存したビデオファイルや、ウェブからダウンロードしたり、Bluetooth から受信したビデオファイルは、データフォルダのビデオフォルダの中に保存されています。

注　オーディオファイルやビデオファイルをダウンロードするにはそれらを購入し、使用権を取得する必要があります。ファイルが著作権で保護されていたり、期限が切れている場合は、アイコンが表示されます。

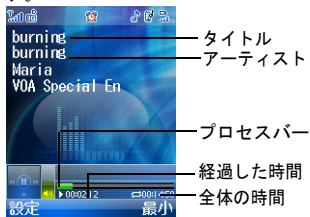
イヤホンマイクを使用するときは、下の図に示すように正しくイヤホンマイクジャックに接続します。

ファイル形式

メディアプレーヤーで使用できるファイル形式は以下のとおりです。

メディアタイプ	ファイル形式
オーディオファイル	WAV (ADPCM)、MIDI、AMR (NB)、MP3、AAC、AAC+、Enhanced AAC Plus、QCP
ビデオファイル	MP4、3GP、3G2、PMD

ミュージック再生中のアイコン

オーディオファイル再生中に、以下の操作を行うことができます。

操作	説　明
	を押して登録済みの再生リストにアクセスします。
	を押して現在の再生ファイルの先頭に戻ります。を押してこのファイルを再生します。

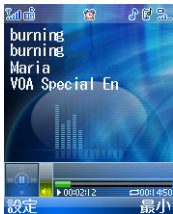
操作	説　明
	を押して前のファイルにアクセスします。を押し続けると再生中ファイルの巻き戻しをします。
	を押して次のファイルにアクセスします。を押し続けると再生中ファイルの早送りをします。
／	を押して再生を一時停止します。 を押して再生を再開します。
	音量キーを押して音量を調整します。(→ P32)

オーディオファイルの再生

1 「データフォルダ」>「ミュージック」または「ミュージック」>「マイミュージック」を選択します。

2 を押して携帯電話と microSD カードの間でオーディオファイルを切替えます。

3 を押して再生するオーディオファイルを選択します。

4 を押してファイルを再生します。

5 オーディオファイルの再生中に を押してバックグラウンド機能を有効にします。

注

- 折りたたみ時再生モードでミュージックキーを長押しすると、ミュージックプレーヤーを使用したり、終了したりすることができます。
- 折りたたみ時再生モードでカメラキーを長押しすると、ミュージックタッチキーをロックしたり、ロック解除したりすることができます。
- 折りたたんだ状態でオーディオファイルが再生され、かつミュージックタッチキーのロックが解除されていると、ミュージックタッチキーで再生、停止、次のトラックに移動、前のトラックに移動を行うことができます。
- 電話がかかってくると：
  – オーディオファイルを再生中の場合、再生は一時停止します。通話が終わると一時停止したところから再生が再開されます。

メニュー機能概要

オーディオファイルの再生中に「設定」を選択して次の操作が行えます。

設定	説明
再生中	現在再生しているミュージックリストを表示します。
Bluetooth経由で再生	ミュージックをBluetoothで接続されているデバイス（Bluetoothイヤホン）経由で再生します。
ミュート／ミュート解除	ミュートの設定／解除を行います。
ブックマーク	ブックマークリストにアクセスします。
プレイリスト	プレイリストを表示します。
バックグラウンドで再生	バックグラウンド再生を開始します。バックグラウンド再生機能を有効にすると、ミュージックを楽しみながら、他の機能を利用することができます。
シャッフル	シャッフル再生をオン／オフします。
ループ	オフ（ループ機能を利用しない）、全て（現在のミュージックリストをループする）、1曲（現在再生中の曲のみをループする）を選択します。
エフェクト	音質のバランスを選択します。
設定	• フルスクリーンの方向：全画面表示時の画面表示の向きを設定します。本体を右に倒して見るか、左に倒して見るか「右」、「左」を選択することができます。 • ストリーミング設定： アクセスポイントを選択。 ストリーミングゲートウェイをオン／オフ切り替え。 QoSをオン／オフ切り替え。
ビデオカメラ	ビデオカメラ機能を起動します。
履歴	再生されたファイルの履歴を表示します。
プロパティ	現在再生中のファイルのプロパティを表示します。
終了	オーディオ再生画面を終了します。

プレイリスト

よく聞くミュージックを登録することができます。このリストは最大 10 件登録できます。ここに登録されたリストを選べばメディアプレーヤーが起動してミュージックを聴くことができます。

1 「ミュージック」>「プレイリスト」を選択します。

2 聞きたいプレイリストを選択します。

3 プレイリスト画面で「設定」>「再生」を選択します。

4 プレイリストを選択後「設定」で次のようなプレイリストの操作が行えます。

- 設定 > 編集 : プレイリストの編集画面を開きます。
- 設定 > 再生 : 選択したプレイリストの再生をします。
- 設定 > 名前変更 : 選択したプレイリストの名前を変更します。
- ◎を押してプレイリストを選択し、「設定」>「追加」でミュージックを追加することができます。また、「設定」>「削除」で、プレイリストからミュージックを削除することができます。

注　再生リスト中のオーディオファイルが microSD カードに保存されている場合は、microSD カードが挿入されていないと再生できません。

動画の再生

1 「データフォルダ」>「動画」を選択します。

2 ◎を押して本体と microSD カードを切替えます。

3 ◎を押して動画を選択します。

4 ◎を押して動画を再生します。

注
- 再生中に電話が掛かってきた場合、再生は一時中断されます。通話終了後に、中断されたところから、再生を再開します。
- 一時停止状態の時に電話が掛かってきた場合、通話終了後も一時停止状態のままです。

メニュー機能概要

ビデオファイルの再生中は、次の操作が行えます。

設定	説　明
再生中	現在再生しているファイルのリストを表示します。
全画面	動画を全画面で表示します。
ミュート／ミュート解除	ミュートの設定／解除を行います。
ブックマーク	ブックマークリストにアクセスします。
プレイリスト	プレイリストを表示します。
シャッフル	シャッフル再生をオン／オフします。
ループ	オフ（ループ機能を利用しない）、全て（現在の動画リストをループする）、1 曲（現在再生中の動画のみをループする）を選択します。
設定	• フルスクリーンの方向：動画を全画面表示する時に、画面の下を本体の左右どちらにするかを設定します。（左又は右を設定できます。） • ストリーミング設定： アクセスポイントを選択。 ストリーミングゲートウェイをオン／オフに切り替え。 QoS をオン／オフに切り替え。
ビデオカメラ	ビデオカメラ機能を起動します。
履歴	再生されたファイルの履歴を表示します。
プロパティ	現在再生中のファイルのプロパティを表示します。
終了	ビデオ再生画面を終了します。

11 データフォルダ

撮影した写真やビデオ、ダウンロードした音楽などのデータを、最大60MBまで保存することが出来ます。

構成について

フォルダ	説明	ファイル形式
ピクチャー	イメージファイルを保存します。	JPG、PNG、BMP、GIF、BCI、WBMP、SVG、および SVGZ
ミュージック	オーディオファイルを保存します。	WAV (ADPCM)、MIDI、AMR (NB)、MP3、AAC、AAC+、Enhanced AAC Plus、QCP
動画	動画ファイルを保存します。	3GP、MP4、3G2、および PMD
その他	すべての種類のファイルを保存します。	TXT など

ファイルの表示

画像ファイルの表示

1 「メインメニュー」>「データフォルダ」を選択します。

2 ◎を押して画像ファイルが保存されているフォルダを選択します。

3 ◎を押して画像ファイルを選択し、○を押して表示します。

注

- 画像ファイルの表示中に○を押すと、ズームイン／ズームアウトを行えます。
- 画像ファイルの表示中に◎を押すと、次のファイルを表示できます。
- 画像ファイルの表示中に◎を押すと、1つ前のファイルを表示できます。

ファイルの表示

- ファイルアイコンは次のとおりです。

ファイル	アイコン	説　明
画像		ロックされてない画像ファイル。
		表示可能で転送可能な画像ファイル。
		表示可能だが転送不可能な画像ファイル。
		表示できないが転送可能な画像ファイル。
		表示できず転送も不可能な画像ファイル。

ファイル	アイコン	説　明
オーディオ		ロックされてないオーディオファイル。
		再生可能で転送可能なオーディオファイル。
		再生可能だが転送不可能なオーディオファイル。
		再生できないが転送可能なオーディオファイル。
		再生できず転送も不可能なオーディオファイル。
動画		ロックされてないビデオファイル。
		表示可能で転送可能なビデオファイル。
		表示可能だが転送不可能なビデオファイル。
		表示できないが転送可能なビデオファイル。
		表示できず転送も不可能なビデオファイル。

ファイルのソート

1 「メインメニュー」>「データフォルダ」を選択します。

2 ◎を押して並び替えを行いたいフォルダを選択します。

3 「設定」>「名前でソート」または「日付でソート」を選択して、ファイルを並び替えます。「名前でソート」を選んだ場合は名前順に、「日付でソート」を選んだ場合は日付順に、ファイルを並び替えます。

ファイルの使用

画像ファイルの使用

1 画像ファイルを選択して、◎を押して表示します。

2 「設定」>「設定」を選択して画像ファイルを待受画面、または電話帳の画像として設定します。

- 待受画面に設定する：

  (1) 「待受画面」を選択します。

  (2) ⌐ を押して「はい」を選択して決定します。

- 電話帳の画像に設定する：

  (1) 「電話帳の画像」を選択します。

  (2) 画像を設定したい連絡先を検索します。連絡先の検索。(→ P73)

ファイルの使用

(3) ◎ を押して連絡先を選択します。

(4)「設定」>「保存」を選択します。

オーディオファイルの使用

1 オーディオファイルを選択します。

2 「設定」>「着信音に設定」を選択してオーディオファイルを着信音として設定します。

- 電話着信音／TV 電話着信音として設定：音声電話 または、TV電話着信音として設定します。
- 指定電話着信音／指定TV電話着信音として設定：

(1)「指定電話着信音」または、「指定TV電話着信音」を選択します。

(2) 着信音を設定したい連絡先を検索します。連絡先の検索。(→P73)

(3) ◎ を押して連絡先を選択します。

(4)「設定」>「保存」を選択します。

- 着信音として設定可能なオーディオファイルは MP3、AAC/AAC+、AMR、MID、WAV (ADPCM)、QCP、MP4、3GP、および 3G2 です。MP4、3GP、3G2 については、動画ファイルでなければ着信音として設定できます。
- 着信音に設定するオーディオファイルは、次の条件を満たす必要があります。
  – ファイルがデジタル著作権管理 (DRM) で保護されていること。
  – 着信音用のオーディオファイルであること。

機能メニュー概要

「ピクチャー」、「ミュージック」、「動画」、または「その他」のフォルダにアクセスし「設定」を選択することで、ファイルに次の操作を行うことができます。

操作	説　明
表示	画像ファイルを表示します。
送信	選択されたファイルをメール または、Bluetooth で送信します。

操作	説　明
設定	画像を待受画面 または、電話帳の画像として設定します。
編集	画像ファイルを編集します。
名前変更	選択されたファイルの名前を変更します。
切り取り	選択されたファイルを切り取ります。
コピー	選択されたファイルをコピーします。
名前／日付でソート	ファイルを名前または日付で並び替えます。
削除	選択されたファイルを削除します。
マーク／マーク解除	1 つまたは複数のファイルを選択または選択をキャンセルします。
プロパティ	1 つまたは複数のファイルのプロパティを表示します。
再生	選択されたファイルを再生します。
着信音に設定	音声電話音、TV電話音 または、指定した連絡先の音声着信音、TV電話着信音として設定します。

フォルダの管理

フォルダを作成する

1 「メインメニュー」>「データフォルダ」を選択します。

2 を押して「その他」フォルダを選択します。

3 「設定」>「新しいフォルダ」を選択し、フォルダ名を入力し、を押して保存します。

フォルダを削除する

1 「メインメニュー」>「データフォルダ」を選択します。

2 を押して「その他」フォルダを選択します。

3 を押して削除するフォルダを選択し、「設定」>「削除」を選択し、「はい」を選択するとフォルダを削除できます。（「いいえ」を選択すると、削除をキャンセルできます）

microSD カード

microSD カードの内容を表示

1 microSD カードを本体に挿入します。(→ P42)

2 microSD カードを認識すると、データフォルダのフォルダ一覧に「microSD カード」が表示されます。を押して microSD カードを選択します。

3 microSD は、本体のデータフォルダと同じ様に使用することができます。

Bluetooth

Bluetoothを使用する前に

注

- 本製品による Bluetooth 接続は、市販されている全ての Bluetooth デバイスとの接続を保証するものではありません。
- 本体と Bluetooth 互換デバイス間の無線通信は 10m 以内です。
- 本機の Bluetooth 機能は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなど様々な機器が運用されています。そのため、他の通信機器との干渉により、通信速度が下がったり通信距離が短くなる可能性があります。干渉が発生した場合には、本製品の使用場所を変えるか、干渉元の機器を停止して下さい。
- Bluetooth 通信は、壁などの障害物により電波状況が変化する可能性があります。
- USB ケーブルと Bluetooth の同時接続はできません。

◆Bluetooth仕様

設定	説　明
バージョン	Bluetooth 仕様 Ver.1.2
出力	Bluetooth 電力クラス 2
周波数バンド	2.4 GHz (2.402 GHz-2.480 GHz)
通信距離	約 10m
サポートされているプロファイル	OPP: オブジェクトプッシュプロファイル FTP：ファイル転送プロファイル SYNC：同期プロファイル HSP：ヘッドセットプロファイル HFP：ハンズフリープロファイル DUN：ダイアルアップネットワーキングプロファイル SDAP：サービスディスカバリアプリケーションプロファイル A2DP：アドバンスド・オーディオディストリビューションプロファイル

◆Bluetoothで送信できるデータ

ファイル	説明
電話帳	• 1件ずつ送信することができます。 • アイコンイメージは送信することができません。
メモ帳	• 1件ずつ送信することができます。
カレンダー	• 1件ずつ送信することができます。 • 次の項目の内容については、送受信することができません。カテゴリ、音声オン／オフ、バイブレータオン／オフ、通知音、通知タイプおよび通知画像。
タスクリスト	• 1件ずつ送信することができます。 • 次の項目の内容については、送受信することができません。音声通知、バイブレータオン／オフおよびタスクタイプ。
データフォルダ内のファイル	• 1件ずつ送信することができます。 • 著作権で保護されたファイルは送信できません。

◆Bluetoothの設定

注 Bluetoothの動作性能は使用している Bluetooth デバイスに依存します。より詳細な情報については周辺機器の取扱説明書を参照するか、または周辺機器のメーカーにご相談ください。

◆Bluetoothオン ／オフ設定

1 「メインメニュー」>「設定」>「接続設定」>「Bluetooth」>「Bluetooth オン／オフ」を選択します。

2 [ナビキー]を押して「オン」を選択し、次に[決定キー]を押します。

3 Bluetooth アイコンが待受画面のアイコンバーに表示されます。

◆自デバイス表示許可の設定

本機の Bluetooth デバイスを、他の Bluetooth デバイスから検索可能に設定します。

1 「接続」>「接続設定」>「Bluetooth」>「自デバイス表示許可」を選択します。

2 を押して「表示」を選択し、を押して設定します。

◆新しいデバイス検索

1 「設定」>「接続設定」>「Bluetooth」>「新しいデバイスの検索」を選択します。

2 検索されたデバイスリストでを押してペアリングをしたいデバイスを選択し、「設定」>「ペアリング」を選択してデバイスをペアリングを実行します。

3 Bluetooth パスコードを入力し、を押して確定します。

- ペアリング先のデバイスで、15秒以内にパスコードを入力すると、ペアリングが完了します。

4 ペアリングが成功すると、ペアリングが成功したことを知らせるダイアログボックスが表示され、デバイスを信頼済みとして設定するかどうか、確認画面が表示されます。

5 「はい」を選択した場合、その機器とは次回以降ペアリングを省略することができます。

- 新規デバイスを選択する際は、本機と接続したい機器の双方の Bluetooth 機能をオンにして、自デバイスの表示許可を行うように設定してから、デバイスの検索を行ってください。
- 同時に最大 30 台の Bluetooth デバイスを検索してペアリングできます。
- Bluetooth デバイスを接続するためには、パスコード（1 ～ 16 桁の数字）を設定する必要があります。送信者と受信者は同じコードを入力することで、ペアリングを行うことが出来ます。
- デバイスのペアリングを行う際に、パスコードが必要でない場合もあります。

「設定」>「接続設定」>「Bluetooth」>「Bluetooth デバイス一覧」を選択します。ペアリングされたデバイスがリストに表示されます。リストの中からデバイスを選択し、「設定」を選択すると次の操作ができます。

設定	説　明
検索	他の Bluetooth デバイスを検索します。
ペアリング／ペアリング解除	デバイスをペアリングするかペアリングされたデバイスのペアリングを解除します。
信頼済に設定／非信頼に設定	• 信頼済として設定：データ送信要求があると自動的にデータを受信します。 • 非信頼されていないとして設定：データ送信要求があると本機はデータを受信するか否か問合せします。
自デバイス名変更	本機の Bluetooth デバイスの名前を変更できます。
削除	Bluetooth デバイスをデバイスリストから消去します。
全て削除	すべての Bluetooth デバイスをデバイスリストから消去します。
デバイスの詳細	Bluetooth デバイスの詳細情報を表示できます。

• デバイスリストはすべてのペアリングデバイスの情報を保持します。

Bluetooth を利用してインターネットへ接続する

本製品内蔵の Bluetooth 機能と HSDPA モデム機能を利用することにより、PC を本製品経由でインターネットに接続することができます。

Bluetooth 経由でのインターネット接続は、本製品の Bluetooth 接続設定を行う必要があります。

なお、PC に本製品に付属の CD-ROM からダイアルアップ用のアプリケーションをインストールしてください。
（詳細はCD-ROM 内のヘルプファイルをご参照下さい。）

ここでは本製品側の Bluetooth 接続に関する設定を説明します。

• 本機能を使用する場合、PC 側の OS は Windows 2000 SP4 以降、Windows XP SP2 以降、または、Windows Vista であることが必要です。

1 「メインメニュー」>「設定」>「接続設定」>「モデム」を選択し、「Bluetooth 経由」に設定します。

2 「メインメニュー」>「設定」>「接続設定」>「Bluetooth」>「Bluetooth オン／オフ」を選択します。

3 PC の「デバイスマネージャ／モデム」の中に、「標準 33600bps モデム」があることを確認します。PC 上で Bluetooth 用のドライバプログラムを実行し、本機とのペアリングを行います。PC が本機のダイアルアップネットワークサービスを検出した後、このサービスを利用することができます。

4 ダイヤルアップインターネットをインストールします。CD-ROM を PC へ挿入し、画面の指示に従ってインストールを完了します。

5 PC上でダイヤルアップインターネットを実行します。

操作の詳細については CD-ROM の Dialup Internetのヘルプを参照してください。

Bluetoothデバイスの設定

「メインメニュー」>「設定」>「接続設定」>「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth 機能の基本設定を実行できます。

設定	説　明
Bluetooth オン／オフ	Bluetooth 機能を「オン」または「オフ」に設定します。
新しいデバイスの検索	新しい Bluetooth デバイスを検索できます。
Bluetooth デバイス一覧	すべての検出された Bluetooth デバイスを表示できます。
自デバイス表示許可	本機の Bluetooth 機能が有効の時、他の Bluetooth デバイスから、本機を検出できるかどうかを設定します。
自デバイス名変更	本機の Bluetooth デバイスの名前を変更できます。
デバイスのプロパティ	本機の Bluetooth デバイスの名前やアドレスなどの詳細情報を表示することができます。

PCと接続する

本製品をPCと接続してHSDPA 3.6Mbpsのモデムとして使用し、PC からインターネットへダイアルアップ接続を行ったり、本体に取り付けた microSD カード内のデータの読み書きを行うことができます。本製品と PC とは付属の専用 USB ケーブルにより USB 接続または、Bluetooth を利用して接続します。

USB接続を設定する

本製品を USB ケーブルで PC に接続するには、USB 接続の設定、および、付属の CD-ROM から H11HW ユーティリティやUSB ドライバをPC にインストールする必要があります。

1 本機を USB 接続に設定する。

- 「メインメニュー」>「設定」>「接続設定」>「モデム」>「USB 経由」を選択し、設定します。

2 ソフトウェアのインストール。

ソフトウェアのインストールが完了するまで、本製品をPC に接続しないで下さい。

下記のプログラムをPCにインストールする必要があります。

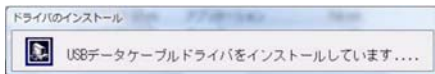
– USB ドライバ

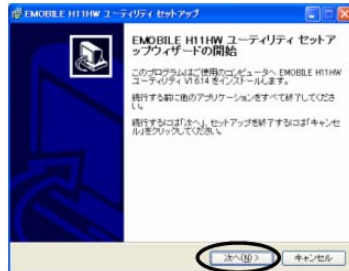
– H11HW ユーティリティ（PC と本製品間でファイルやデータを交換する場合）

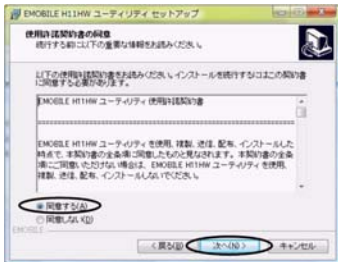
– ダイヤルアップインターネット（専用のダイヤルアップを使用する場合）

- PC の電源を入れ、OS を起動します。
- 付属の CD-ROM を CD ドライブにセットします。
- PC の OS が Windows Vista の場合には「ユーザーアカウント制限」の警告ウィンドウがポップアップします。「許可」をクリックしてください。
- インストーラーが起動します。

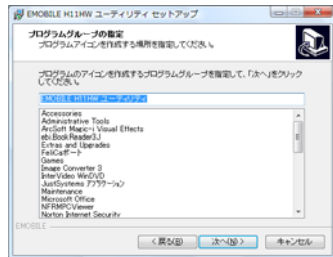
- インストーラーメニューの下記の項目にチェックマークがついていることを確認します。

- 「続行」ボタンをクリックします。
- 下図のウィンドウが表示され、USB ドライバがインストールされます。（インストールが完了するまでしばらく時間がかかります。）

USB ドライバのインストールが完了すると、H11HWユーティリティのインストールを開始します。

- インストールウィザードが表示されます。

- 「次へ」をクリックします。

• 使用承諾契約書同意画面が表示されます。

「同意する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

• インストールするフォルダを指定します。（画面ではデフォルトの「C:¥Program Files¥EMOBILE H11HW ユーティリティ」が表示されます。）

• フォルダを指定したら、「次へ」ボタンをクリックします。

- スタートメニューでプログラムのアイコンを表示するプログラムグループを指定し、「次へ」をクリックします。
- デスクトップにアイコンを表示するかどうかを設定します。

デスクトップにアイコンを作成しない場合は、チェックマークを外します。

- 「次へ」をクリックするとインストール開始の確認画面が表示されます。

- 「インストール」をクリックするとインストールが開始されます。

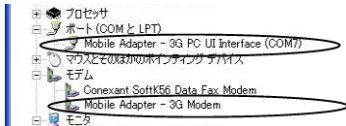
注 インストーラーのメニューで「ダイヤルアップインターネット」にチェックを入れなかった場合はダイヤルアップインターネットはインストールされません。

- インストールが完了し、上の画面が表示されたら「完了」をクリックします。これでインストールは完了です。

3 本機と PC の接続

- 本製品付属の USB ケーブルの USB コネクタを PC の USB ポートに差し込みます。次に USB ケーブルの 20Pin コネクタを本機側面の外部接続端子に差し込みます。

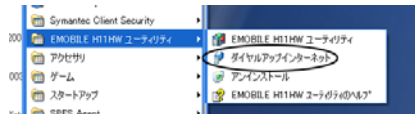
注 H11HW 本体に microSD カードが挿入されていると、メインディスプレイ に USB カードリーダーとして使用するかの問い合わせが表示されます。「いいえ」ボタンを押して USB メモリとしての使用をキャンセルします。

- 初めてUSBケーブルでPCに接続する場合はUSBデバイスが検出され、USB ドライバが組み込まれます。
- ハードウェア検出のウィザードが開いた場合は、「自動的にデバイスドライバを検出する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
- デバイスがインストールされたら、デバイスドライバを確認します。「スタートメニュー」>「コントロールパネル」>「システム」でシステムのプロパティを開きます。「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

上図のように「ポート (COM と LTP) 」に Mobile Adapter - 3G PC UI Interface (COM *) が、「モデム」に Mobile Adapter - 3G Modem がインストールされていることを確認してください。

（「ポート」の 3G PC UI Interface の COM の番号はお使いの PC の状態によって異なります。上の例では COM7）

USB接続でPCからインターネットに接続する

1 ダイヤルアップインターネットを使ってインターネットに接続します。

- PC の「スタートメニュー」>「EMOBILE H11HW ユーティリティ」>「ダイヤルアップインターネット」をクリックします。またはデスクトップのダイヤルアップインターネット をダブルクリックします。

USB接続でPCからインターネットに接続する

• ダイヤルアップインターネット が起動します。初めての起動の場合は「新規」ウィンドウが開きます。

• ハードウェアタブで通信デバイスの設定内容を確認してください。通常は自動的に Mobile Adapter - 3G Modem (COM x) が選択されます。Mobile Adapter 以外が表示されるか、何も表示されない場合は、通信デバイスのウィンドウの横の▽をクリックしてプルダウンメニューを開き、Mobile Adapter - 3G Modem (COM *) を選択します。

• OK をクリックすると、ダイヤルアップインターネット起動画面が表示され、自動的に作成されたダイヤルアップの接続用アイコンが表示されます。

注 ダイヤルアップインターネットを使用すると、接続用アイコンにはダイヤルアップの各種設定が自動的に行われます。ダイヤルアップの情報として下記が使用されています。

接続の名前：EMOBILE（任意の名前に変更できます。）
ＡＰＮ：emb.ne.jp
電話番号：*99***1#
ユーザー名：em
パスワード：em

２回目以後にダイヤルアップインターネットを起動すると「新規」ウィンドウは開きません。

- 接続用アイコンのEMOBILEをダブルクリックするか、接続用アイコンを選択し、左側のアイコンをクリックするとインターネットに接続します。

注　２度目以後にUSB接続を行う際、インストールのときに接続したポートと異なるUSBポートにUSBケーブル接続すると、登録されている接続用アイコンを使用しても接続できない場合があります。これは異なるUSBポートに接続すると、登録済みの接続用ダイヤルアップで使用するCOMポートとは異なるCOMポートがModem Adapterに割り当てられるためです。この様な場合は、ダイヤルアップインターネットを終了し、インストール時に使用されたUSBポートにつなぎなおしてからダイヤルアップインターネットを起動し、ダイヤルアップしてください。又は作成されたポート用に、新しい接続を作り直してください。

2 新しい接続の作成

- 新しいダイアルアップ接続の設定を行い、その接続用のアイコンを作成します。パソコンによっては、本機を接続するパソコン側USBポートを変更することで、新しい接続の作成が必要な場合があります。
- 新しい接続を作成するには、ダイヤルアップインターネットの画面で（新規）をクリックし、新規画面を開きます。

- 表示される通信デバイスが、新しいCOMポートになっていることを確認してください。

12 接続

USB接続でPCからインターネットに接続する

• 「接続」タブを選択して、接続を識別するための名前を登録します。（例：EMOBILE-USB2）

OK ボタンをクリックします。

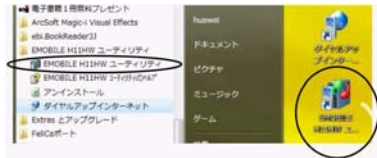
• 新しいアイコンが作成され、クリックして接続できれば完了です。

USB接続で本製品とPC間でファイルを交換する

本機と PC を USB ケーブルで接続し、本製品に付属の H11HW ユーティリティを利用すると各種のデータやファイルを転送することができます。

H11HW ユーティリティのインストールの確認

「USB 接続を設定する 」のソフトウェアのインストール (P137) でインストールした「H11HW ユーティリティ」の動作確認を行います。

- 「スタートメニュー」>「プログラム」> 「EMOBILE H11HW ユーティリティ」> 「EMOBILE H11HW ユーティリティ」をクリックするか、デスクトップのH11HWユーティリティのアイコンをダブルクリックします。

- H11HW ユーティリティが起動します。

H11HW ユーティリティの使用方法は、「スタートメニュー」>「プログラム」>「EMOBILE H11HW ユーティリティ」>「H11HW ユーティリティ」のヘルプ を参照するか、ユーティリティを起動した後、そのヘルプファイルを参照してください。

USB接続で本製品とPC間でファイルを交換する

13 設定

一般設定

本体の言語

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「Phone language」を選択します。

3 を押して本体の言語を選択します。

- 自動 : 本機の言語を EM chip に設定されている言語に設定します。
- English : 本機の表示言語を英語に設定します。
- 日本語 : 本機の表示言語を日本語に設定します。

4 を押して設定します。

辞書設定

日本語変換時に、追加辞書を使用するかどうかを設定します。

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「辞書」を選択します。

- 顔文字辞書および顔文字辞書 2 : 日本変換候補に顔文字を追加できます。
- 首都圏ランドマーク辞書および、京阪神ランドマーク辞書 : 日本語変換候補に各地の観光地、ビル名などのランドマーク名称を追加できます。
- これらの辞書を使用する場合は、「メインメニュー」>「設定」>「辞書」>「使用する辞書」>「オン」で確定します。
- これらの辞書を使用せず、日本語変換候補に表示させないようにするには、「メインメニュー」>「 設定」>「辞書」>「使用しない辞書」>「オフ」で確定します。

日付／時刻設定

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「日付／時刻設定」を選択します。

3 日付と時刻を入力し、 を押します。

日付の表示形式

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「日付表示形式」を選択します。

3 日付表示形式を選択します。

4 を押して保存します。

ショートカット

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「ショートカット」を選択します。

3 設定したい方向 を選択し、 を押します。

4 「設定」画面の中から機能を選択し、 を押します。

電源自動オン／オフ

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「電源自動オン／オフ」を選択します。

3 を押して「自動オン」を選択し、自動オンの繰り返し間隔内から設定し、次に「保存」を選択します。

4 を押して「時間」を選択し、「自動オン」の時間を設定し、次に「確定」を選択します。

5 を押して「自動オフ」を選択し、「自動オフ」の繰り返し間隔内から設定し、次に「保存」を選択します。

6 を押して「時間」を選択し、「自動オフ」の時間を設定し、次に「確定」を選択します。

7 「設定」>「保存」を選択します。

モード設定

設定できるモードについて

本機の利用環境に合わせて音声の各種モードに切り替えることができます。

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「モード設定」を選択します。

3 本機では次の9つのモードを設定できます。

モード設定	標準	マナー	サイレント	アウトドア	ドライブ	イヤホン	オフライン	個別モード1	個別モード2
通常着信音	通常	なし	なし	通常	通常	通常	なし	通常	通常
TV電話着信音	通常	なし	なし	通常	通常	通常	なし	通常	通常
メール着信音	タイプ1	なし	なし	タイプ1	タイプ1	タイプ1	なし	タイプ1	タイプ1
トーン音量	レベル4	サイレント	サイレント	レベル6	レベル4	レベル4	サイレント	レベル4	レベル4
受話音量	レベル4	レベル3	レベル3	レベル6	レベル4	レベル4	レベル4	レベル4	レベル4
キー操作音量	レベル4	サイレント	サイレント	レベル6	レベル4	レベル4	レベル4	レベル4	サイレント
通知音量	レベル4	サイレント	サイレント	レベル6	レベル4	レベル4	レベル4	レベル4	レベル4
バイブレーター	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
本体開閉音	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
電源オン／オフトーン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オン

切替

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「モード設定」を選択します。

3 を押してモードを選択し、「設定」>「オン」を選択します。を押して「はい」を選択して決定します。

- を押してモードを選択し「設定」>を押す >「有効にしますか」>「はい」を選択します。

着信音設定

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「一般設定」>「モード設定」を選択します。

3 を押してモード設定を選択し、「設定」>「編集」を選択して編集します。

- **通常着信音**：

(1) を押して「通常着信音」を選択します。

(2) 音声ファイルの保存場所を選択します。

(3) 通常着信音として設定するオーディオファイルを選択し、「確定」を選択します。

- **TV電話着信音**：

(1) を押して「TV電話着信音」を選択します。

(2) オーディオファイルの保存場所を選択します。

(3) TV 電話着信音として設定するオーディオファイルを選択し、「確定」を選択します。

- **メール着信音**：

(1) を押して「メール着信音」を選択します。

(2) オーディオファイルの保存場所を選択します。

(3) メール着信音として設定するオーディオファイルを選択し、「確定」を選択します。

- **トーン音量**：

(1) を押して「トーン音量」を選択します。

(2) を押して着信音および着信メール着信音のトーン音量を設定します。

(3) を押して確定します。

- **受話音量**：

(1) を押して「受話音量」を選択します。

(2) を押して受話器の音量を設定します。

(3) を押して確定します。

- **キー操作音量**：

(1) を押して「キー操作音量」を選択します。

(2) を押してキー操作音量を設定します。

(3) を押して確定します。

- **通知音量**：

(1) を押して「通知音量」を選択します。

(2) を押して通知音量を設定します。

(3) を押して確定します。

- **バイブレーター**：

(1) を押してバイブレーターを選択します。

(2) を押しバイブレーションを「オン」か「オフ」に設定します。

(3) を押して確定します。

- **本体開閉音**：

(1) を押して本体開閉音を選択します。

(2) を押して本体を開閉時の効果音の鳴動についてを設定します。

(3) を押して確定します。

- **電源オン／オフトーン**：

(1) ◎ を押して電源オン／オフトーンを選択します。

(2) ◎ を押して電源オン／オフトーンを「オン」か「オフ」に設定します。

(3) ◎ を押して確定します。

ディスプレイ設定

壁紙

◆ 標準

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「壁紙」>「標準」を選択します。

3 ◎ を押して画像ファイルを選択し、◎ を押して確定します。

◆ データフォルダ

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「壁紙」>「データフォルダ」を選択します。

3 画像ファイルの保存場所を選択します。

4 ◎ を押して画像ファイルを選択し、◎ を押します。

◆ レイアウト

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「壁紙」>「レイアウト」を選択します。

3 ◎ を押して壁紙レイアウトを選択し、次に ◎ を押します。

- 中央：壁紙は画面中央に表示されます。
- 画面に合わせる：壁紙は引き伸ばされて画面全体に合わせられます。
- 並べて表示：壁紙は並べて表示されます。

背景色テーマ

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「背景色テーマ」を選択します。

3 テーマ1もしくは、テーマ2を選択し、 を押して決定します。

画面の明るさ

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「画面の明るさ」を選択します。

3 を押して画面の明るさを設定し、次に を押します。

注 画面の明るさには3つのレベルがあります。明るくしたい場合は を押し、暗くしたい場合は を押します。

キーパッド照明

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「キーパッド照明」を選択します。

3 を押してキーパッド照明を「オン」か「オフ」に設定します。

バックライト照明時間

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「バックライト照明時間」を選択します。

3 を押してバックライト照明時間を選択し、 を押します。

- 点灯時間は、5 秒、15 秒、30 秒、常にオンのいずれかを選択できます。

節電画面

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「節電画面」を選択します。

3 ◎ を押して節電設定時間を選択し、◯ を押します。

- 節電画面に移行するまでの時間は、5 秒、20 秒、1 分のいずれかを選択できます。

起動メッセージ

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ディスプレイ設定」>「起動メッセージ」を選択します。

3 本機の電源をオンしたときに画面に表示される起動メッセージを編集し、◯を押します。

注 ご購入時には Hello! が登録されていますが任意に変更することが出来ます。メッセージの長さは全角、半角とも 20 文字までです。

通話設定

オプションサービス

サービス	意　味
「転送電話」	着信を転送します。(→ P191)
「発着信規制」	各種発信および着信の制限を設定します。(→ P192)
「割込通話」	割込通話を有効または無効にする機能の設定をします。(→ P193)

注 オプションサービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。電波の届かない場所では、本機からは操作できません。

自動リダイヤル

発信に失敗したときに自動リダイヤルします。

1 「メインメニュー」＞「設定」＞「通話設定」＞「自動リダイヤル」を選択します。

2 「オン」または「オフ」を選択し、自動リダイヤル機能を有効または無効にします。

着信応答設定

着信に応答する方法の設定をします。

1 「メインメニュー」＞「設定」＞「通話設定」＞「着信応答設定」を選択します。

2 次の方法で着信に応答できます。

- 本体オープン：本体を開いて応答します。
- エニーキーアンサー：本体を開き、と以外のキーを押すことで電話を受けます。
- 通話キー：を押して応答します。

自動応答

着信に対する自動応答の設定をします。

1 「メインメニュー」＞「設定」＞「通話設定」＞「自動応答」を選択します。

2 次の方法で着信に自動応答できます。

- 即時応答：着信して 5 秒後、自動的に電話がつながります。
- 定型文：電話着信の 20 秒後に、相手に設定済みの SMS を送信します。
- 録音メッセージ：着信して20秒後にあらかじめ設定した応答メッセージを流して、相手の伝言を録音します。あらかじめを押して応答メッセージを録音し、「確定」を選択して機能を有効にしておく必要があります。
- オフ：自動応答機能を無効にします。

発信者番号通知

自分の電話番号を相手先の電話に表示させるか否かを選択できます。

1 「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「発信者番号通知」を選択します。

2 次の設定ができます。

- 自動：電話番号が表示されるか否かは、ネットワークにより決定されます。
- 発信番号通知：電話番号は表示されます。
- 発信番号非通知：電話番号は表示されません。

回線選択

電話の発信回線を設定します。

「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「回線選択」を選択し、「回線 1」または「回線 2」を利用できます。

自局電話番号

「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「自局番号表示」を選択します。

未登録番号保存確認

未登録の相手から着信があった場合に、電話帳への保存確認を表示するかどうかの設定ができます。

1 「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「未登録番号保存確認」を選択します。

2 「オン」または「オフ」を選択して、この機能を有効または無効にします。

ネットワーク設定

モード

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ネットワーク設定」>「ネットワーク種別」を選択します。

3 [キー] を押してネットワーク種別を選択します。

- UMTS : 携帯電話は UMTS サービスエリア内でのみネットワーク信号を検索します。
- GSM : 携帯電話は GSM サービスエリア内でのみネットワーク信号を検索します。
- 自動 : 携帯電話は現行ネットワーク内でのみネットワーク信号を自動検索します。ご購入時は自動に設定されています。

4 を押します。

サービスエリアの選択

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ネットワーク設定」>「ネットワーク選択モード」を選択します。

3 を押してネットワークを選択します。

- 自動 : ネットワークを自動検索し、ネットワークに登録します。
- 手動 :「通信事業者一覧」内にあらかじめ登録されているネットワークを選択します。

4 を押します。

マイ PLMN リスト

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「ネットワーク設定」>「マイ PLMN リスト」を選択します。

3 を押して PLMN を選択します。

4 を押します。

セキュリティ

リセット、パスワードロック、パスワード変更、固定ダイヤル番号、DRM 設定などを含む本機のセキュリティに関連する設定を変更できます。

リセット

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「セキュリティ」>「リセット」を選択します。

3 「はい」を選択後に暗証番号を入力して確定する。本機をご購入時の設定に戻します。

パスワードロック

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「セキュリティ」>「パスワードロック」を選択します。

- 本体ロック「オン」を選択後、本体パスワードを入力し確定します。（ご購入時は 0000 に設定されています。）
- PIN ロック「オン」を選択後、PIN コードを入力し確定します。

パスワードの変更

- PIN に関する詳細な情報 : (→ P29)

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「セキュリティ」>「パスワード変更」を選択します。

- 本体パスワード

(1) 現在のパスワードを入力します。（ご購入時は 0000 に設定されています。）

(2) 新しいパスワードを入力します。

(3) 確認のためにもう一度新しいパスワードを入力して確定します。

- PIN コード

(1) 現在のパスワードを入力します。

(2) 新しいパスワードを入力します。

(3) 確認のためにもう一度新しいパスワードを入力して確定します。

- PIN2 変更

(1) 現在のパスワードを入力します。

(2) 新しいパスワードを入力します。

(3) 確認のためにもう一度新しいパスワードを入力して確定します。

注

- 誤ったPINまたはPIN2コードを3回入力すると SIM カードはロックされます。SIM カードをロック解除するためには、PUK または PUK2 コードが必要になります。PUK または PUK2 コードを各10回間違えて入力するとSIM カードは完全にロックされます。
- PUK または PUK2 コードについては、お問い合わせ先(裏表紙内側)までご連絡ください。
- PIN1 コード変更 (PIN1 コードを変更するには最初に「PIN ロック」を「オン」に設定する必要があります。PIN ロックを設定しないと、「PIN1 コード」という選択肢がディスプレイ上に表示されません)。

固定ダイヤル番号

イー・モバイルにはこのサービスはありません。(他の通信事業者でこのサービスを提供している場合に設定可能で、登録された電話番号と緊急電話番号以外には電話をかけられなくなります。)

1 「メインメニュー」>「設定」>「セキュリティ」>「固定ダイヤル番号」を選択します。

2 本機能を使用する場合：

- オン > PIN2 コードを入力 > ◎ を押して確定します。

3 本機能を無効にする場合：

- オフ > PIN2 コードを入力 > ◎ を押して確定します。

- 発信許可番号リストの表示: ◎ を押して FDN リストを選択すると、固定ダイヤル番号リストを表示させることができます。

13 設定

DRM 設定

1 「メインメニュー」>「設定」を選択します。

2 「セキュリティ」>「DRM 設定」を選択します。

3 本体パスワードを入力します。(ご購入時は0000に設定されています。)

4 「全ての著作権の削除」を選択します。

5 「はい」を選択して全ての権利を削除します。

注 DRM 設定内の権利を消去すると、ダウンロードなどにより保存されたコンテンツが再生できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

この機能は様々な便利ツールを提供します。メインメニューから を選択して「ツール」を表示します。

SIM ツールキット

イー・モバイルは、このサービスを提供していません。（2008 年 4 月現在）

アラーム

アラームの設定

６件のアラームを設定することができます。アラームが設定されると待受画面中に が表示されます。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「アラーム」を選択します。

3 を押してアラームリストから使用するアラームを選択すると、アラーム設定画面が開きます。

4 必要に応じて、次の設定を行います。

アイコン	項目	説　明
	時刻	アラーム起動時刻
	アラーム名	アラーム名を設定できます。
	アラーム音選択	標準音、またはデータフォルダに保存された音声のファイルを選択します。

アイコン	項目	説　明
	ユーザー定義	毎日、1 回のみ、月～金、または月曜日から日曜日までのいずれかの日を選択します。
	スヌーズ	スヌーズを選択するとアラーム鳴動は停止しますが、5 分後に再びアラームが鳴動します。 スヌーズ動作をさせないためにはスヌーズを選択し、「オフ」を選択します。
	バイブ	バイブレータを「オン」または「オフ」に設定します。
	アラーム音	アラーム音を「オン」または「オフ」に設定します。

アラーム設定の後、[..] を押して有効化を選択すると、アラームが有効になります。

アラーム鳴動時の画面

設定時刻になると、アラーム音が鳴るか／振動し、アラーム鳴動時の画面が表示されます。

- いずれかのキーを押すか、本体を開閉するとアラーム音を停止させることができます。
- アラームを停止しない場合、アラーム音／振動は55 秒間継続し、5 分間隔で 3 回まで繰り返します。
- アラームの設定でスヌーズを有効にした場合は、アラーム鳴動時に [..] を押すとアラームをスヌーズします。（一度アラームは停止しますが、5 分後に再び鳴動します。）
- 本機の電源がオフの場合でも、アラームは鳴動します。アラームが鳴動すると、本機の電源をオンにするように選択することもできます。
- 通話中はアラーム音は鳴動／振動しませんがスヌーズは表示されます。
- スヌーズの操作は何回も実行でき、その間隔は 5 分です。

アラームの停止

リストからアラームを選択し、を押してアラームを無効にします。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「アラーム」を選択します。

3 を押して停止させたいアラームを選択します。

4 を押すと停止します。

カレンダー

カレンダーの表示

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「カレンダー」を選択します。

3 「設定」>「表示モード」を選択し、カレンダー表示を「月表示」、「週表示」または「日表示」から選択します。選択は現在の表示モード以外のモードから選択できます。

月表示画面

月表示画面上でを押して前月／次月を表示します。

週表示画面

週表示画面上でを押して前週／次週を表示します。を押して週の中の曜日を移動します。次にを押してスケジュールイベントを作成するか、またはカレンダーイベントの詳細を表示します。

日表示画面

日表示画面上でを押して前日／翌日を表示します。を押して一日のイベントの間で切替えます。

次にを押してスケジュールイベントを作成するか、またはスケジュールイベントの詳細を表示します。

新しいスケジュール

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「カレンダー」を選択します。

3 「設定」>「新規追加」を選択し、新しい予定を作成します。

下記の項目を設定することが出来ます。 各アイコンの項目を選択しキーを押すと、各項目を編集する画面になります。

アイコン	項目	説　明
	予定	スケジュールのタイトルを入力（全角・半角とも最大 20 文字まで）
	場所	スケジュールの場所を入力（全角・半角とも最大 20 文字まで）

アイコン	項目	説　明
	分類	スケジュールのタイプを選択 • 予約 • パーソナル • 仕事 • 会議 • 電話 • 教育 • 旅行 • 休日 • その他
	開始時刻	スケジュールイベントの開始日付と時刻を設定
	終了時刻	スケジュールイベントの終了日付と時刻を設定

アイコン	項目	説　明
	アラーム設定	アラームの設定状態 • アラームなし • アラームあり
	事前通知時間	予定開始時刻に対するアラームの起動時間の設定 • 定刻 • 10 分前 • 30 分前 • 60 分前 • カスタム（23 時間 59 分前までの任意の時間を設定できます）
	繰り返し間隔	アラームサイクルを次のように設定： • 1 回のみ • 月曜日から日曜日のいずれか • 毎月

カレンダー

アイコン	項目	説　明
	予定の内容	スケジュールの内容を入力（最大全角 30 文字）
	アラーム音	アラーム音を次のように設定： • オフ • オン
	バイブレーター	バイブレーションを次のように設定： • オフ • オン
	トーンの選択	スケジュールアラーム音を標準音またはデータフォルダから選択
	ピクチャー	画像ファイルをデータフォルダから選択

スケジュールを設定した後、を押してスケジュールイベントを保存します。

注　本体に最大 500 件、一日につき 15 件までの予定を登録できます。新しい予定を作成する際、最初にアラームをオンにしていない場合、繰り返し間隔、アラーム音、バイブレーターおよびアラーム画像を設定できませんのでご注意ください。

スケジュール作成操作

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「カレンダー」を選択します。

3 「設定」>「予定表示」>「全件表示」を選択してすべてのスケジュール予定を表示します。

4 を押して操作する予定を選択します。

5 「設定」を押して、予定に対して次の操作ができます。

項目	説　明
編集	予定を編集します。
削除	予定を削除します。
新規追加	新しい予定を作成します。

14 ツール

項目	説　明
コピー	予定を本体または microSD にコピーします。
Bluetooth 接続	Bluetooth 経由で送信します。
エクスポート	予定を microSD カードの中の「Others」>「PIM」へエクスポートします。
インポート	予定を microSD カードフォルダから本体へインポートします。
マーク／マーク解除	1 つの予定またはすべての予定をマーク／マーク解除します。

カレンダーのその他のメニュー設定

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「カレンダー」を選択します。（ご購入時は月表示画面に設定されています。）

3 「設定」を選択して次の操作を実行できます。

項目	説　明
新規追加	新しいスケジュールを作成します。
移動	月表示画面から直接特定の日に移動します。
予定表示	すべてのスケジュールを microSD カードにバックアップするために、すべてのイベント、特定のイベント、カレンダーファイルを表示します。
表示モード	カレンダーを他の 2 つの異なったモードで表示します。日表示または週表示。
イベントマネージャ	すべてのスケジュールを管理します。 • 全てバックアップ • データの復元
予定削除	すべてのイベント、過去のイベントまたは指定の期間のイベントを削除します。
設定	保存先、メインビュー、週の最初の曜日を設定します。
メモリ使用状況	使用領域と合計容量などメモリ使用状況を表示します。

スケジュールの操作と設定

スケジュールで登録された時間になると、設定した通知音が鳴動し、通知画面が表示されます。

- いずれかのキーを押すか、本体を開閉すると通知音の鳴動を停止することができます。
- 通知画面で、アラームをスヌーズ又は停止することができます。

注

- 本機の電源がオフの場合でも、設定時刻になった場合、自動的に電源が入り、アラームが鳴動／振動します。アラーム起動により、本体の電源がオンになった場合、アラーム終了後に電源をオンのままにするかオフにするか選択することができます。
- 発信中はアラーム音は鳴動／振動しませんが通知画面は表示されます。
- スヌーズは停止操作をするまで5分おきに繰り返し起動します。
- 携帯電話の使用が禁止されている場所でアラームが鳴動しないように十分ご注意下さい。

電卓

本機で足し算、引き算、掛け算、割り算を行うことができます。また、平方根を求めることもできます。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「電卓」を選択します。

操作	キー割当
数字 (0 ～ 9)	1 ～ 9 WXYZ
＋	
－	

操作	キー割当
X	
／	
＝	
小数点	
平方根を求める	
カーソルの左の文字を削除	
クリア	
終了	

注 電卓では正の実数だけを計算でき、負の実数を入力できません。

単位変換

長さおよび重量の単位を変換できます。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「単位変換」を選択します。

3 変換カテゴリーで「重さ」または「長さ」を選択します。

4 「開始」欄で変換元の単位を選択します。

5 「終了」欄で変換後の単位を選択します。

6 「数値入力」欄に変換する元の数値を入力すると、ディスプレイの下方に変換結果が表示されます。

入力した数値をクリアするには、を押すか、を選択します。

通貨変換

さまざまな通貨表示単位を選択できます。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 [ボタン] を押して「通貨変換」を選択します。

3 「入力」欄に変換する元の数値を入力します。

4 「開始」欄で変換元の通貨を選択します。

5 「終了」欄で変換後の通貨を選択します。

6 「換算率」欄に通貨レートを入力すると、ディスプレイの下方に変換結果が表示されます。

通貨変換画面で「設定」を押すと頻繁に使用する通貨単位を選択できます。これによって「開始」または「終了」欄で選択される単位の切り替えが容易になります。

- JPY：日本の通貨
- CNY：中国の通貨
- USD：アメリカ合衆国の通貨
- HKD：香港の通貨
- GBP：英国の通貨
- EUR：欧州の通貨

同期

この機能を使用して本機の情報とサーバー上の情報を無線ネットワーク経由で同期できます。この同期できる情報には連絡先、カレンダーおよびタスクが含まれます。イー・モバイルは、このサービスを提供していません。(2008 年 4 月現在)

プロファイルの設定

同期機能を使用する前に、プロファイルを設定する必要があります。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「同期」を選択します。

3 「設定」>「新規追加」を選択してプロファイルを作成します。

4 プロファイルの名前を入力し、を押して保存します。

5 を押して「アイテムの同期」、「サーバー設定」、および「ネットワークプロファイル」を切り替えます。

6 「アイテムの同期」画面で、同期する項目を選択し、を押して確定します。その後同期項目の「データベース名」、「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。

7 「サーバー設定」画面で「サーバーアドレス」、「ユーザー名」および「パスワード」を入力します。

8 「ネットワークプロファイル」画面で「プロキシアドレス」および「プロキシポート」を入力します。次に「アクセスポイント」を選択します。

9 「設定」>「保存」後、「データの同期」画面に戻り、保存したプロファイルにカーソルを合わせて、「設定」>「同期」を選択して同期を開始します。

注　このサービスは通信事業者の提供／非提供に依存します。詳細な情報は通信事業者にお問い合わせください。

プロファイルへの操作

同期プロファイルを設定した後、「設定」を選択して次の操作をすることができます。

操作	説　明
同期	同期を開始します。
新規追加	新しいプロファイルを作成します。
編集	新しいタスクを作成します。
ログ表示	最新の同期ログを表示します。
名前変更	プロファイルの名前を変更します。
削除	プロファイルを削除します。

タスクリスト

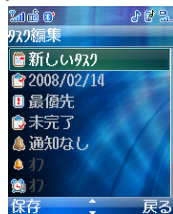
特定の時間に実行するタスクを設定し、管理することができます。設定された時間になると自動的にタスクの実行が通知されるため、タスクの確認を行うことができます。

タスクは、未完了、完了、および全タスクの 3 つの種類に分類されます

新しいタスク

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「タスクリスト」を選択します。

3 「設定」>「新規追加」を選択して新しいタスクを作成します。

アイコン	項目	説　明
	タスクのタイトル	新しいタスクのタイトルを入力します。
	期限	新しいタスクの期限を設定します。
	優先度	新しいタスクの優先度レベルを設定します。 • 最優先 • 重要 • 一般

アイコン	項目	説　明
	タスクの状態	タスクの完了／未完了を設定します。
	タスクの通知	通知の有無： • 通知なし • 通知
	アラーム音	アラーム音の設定： • オフ • オン
	バイブレーター	バイブレーションの設定： • オフ • オン
	通知時間	タスクの通知時間を設定します。
	タスクタイプ	タスクタイプの設定： • パーソナル • 仕事 • その他

タスクを設定した後、を押してタスクを保存します。

注　本体に最大 1000 件のタスクを設定できます。新しいタスクを作成する際、最初にタスクの通知をオンにしていない場合、アラーム音、バイブレーターおよび通知時間を設定できませんのでご注意ください。

タスクへの操作

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「タスクリスト」を選択します。

3 を押して「未完了」、「完了」、および「全タスク」間で切替えます。

4 「設定」を選択して次の操作を実行できます。

項目	説　明
編集	タスクを編集します。
新規追加	新しいタスクを作成します。

タスクリスト

項目	説　明
Bluetooth接続	タスクを Bluetooth 経由で送信します。
コピー	タスクをコピーします。
日付指定表示	特定の日付のタスクを表示します。
完了に設定	タスクの達成状態を完了に設定します。
削除	タスクを削除します。
全て削除	すべてのタスクを削除します。
メモリ使用状況	登録件数と合計容量などメモリ使用状況を表示します。

タスクの通知表示

タスクを通知するとき、設定されたアラーム音が鳴動／振動し、操作画面が表示されます。

- いずれかのキーを押すか、または本体を開閉して音を停止させることができます。
- 操作画面では、アラームをスヌーズまたは停止できます。

注

- 本機に電源が入っていなくても、あらかじめ設定した時間に電源をオンにすることができます。
- 通話中はアラームは鳴動しませんが操作画面は表示されます。
- スヌーズは停止操作するまで5分おきに繰り返し操作画面が表示されます。

ボイスレコーダ

本機で音声を録音できます。

ボイスの録音

◆ 録音開始

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「ボイスレコーダ」を選択します。

3 を押して録音を開始するか、または「設定」>「録音」を選択して録音を開始します。

録音時間の変更。(→ P186)

◆ 録音中の操作

- 録音／一時停止 : 録音中に を押して一時停止し、 を押して再開します。
- 停止と保存 : 録音中に を押して録音を停止します。オーディオファイルは「データフォルダ／ミュージック」に自動的に保存されます。

◆ 録音後の操作

録音が完了した後、「設定」を選択して次の操作をすることができます。

- 送信 : 録音されたファイルをメールまたは Bluetooth 経由で送信します。
- 再生 : 録音されたファイルを再生します。
- 削除 : 録音されたファイルを削除します。

録音の再生

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「ボイスレコーダ」を選択します。

3 「設定」>「データフォルダに移動」を選択します。

4 を押して再生する録音ファイルを選択します。

5 を押して録音ファイルを再生します。

録音ファイルの再生。(→ P131)

注　録音が完了した後、「設定」>「再生」を選択して録音ファイルを再生することもできます。

録音時間の設定

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「ボイスレコーダ」を選択します。

3 「設定」>「録音時間」を選択して録音時間を次のように設定できます。

録音時間は、1 分、5 分、制限なしのいずれかを選択できます。（制限なしの場合の録音時間は、内蔵メモリもしくは使用している microSD カードの空きメモリ容量により異なります。）

メモ帳

本機にメモを最大 100 件登録できます。

新しいメモ

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「メモ帳」を選択します。

3 メモ帳に何も登録されていない場合は、メモ入力画面が表示されます。メモを作成します。

4 「設定」>「新規追加」を選択して新しいメモを作成します。

5 を押してメモを保存します。

注　メモは全角､半角合計で1023文字までです。

メモに対する操作

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「メモ帳」を選択します。

3 を押して操作したいメモを選択します。

4 「設定」を選択して次の操作を実行できます。

項目	説　明
編集	メモを編集します。
新規追加	新しいメモを作成します。
Bluetooth 接続	メモを Bluetooth 経由で送信します。
削除	メモを削除します。
全て削除	すべてのメモを削除します。
メモリ使用状況	登録件数と合計容量などメモリ使用状況を表示します。

ワールドタイム

世界の主要都市の時間を表示できます。

時間帯の表示

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「ワールドタイム」を選択します。

3 を押して時間帯間を切替えます。

タイムゾーンの設定

◆ タイムゾーンの設定

1 時間帯表示画面で を押して希望の時間帯へ切替えます。

2 「設定」>「タイムゾーンの設定」を選択します。

◆ サマータイムに設定

夏時間を使用する都市の場合は、本機をサマータイムに設定する必要があります。これにより正しい現地時間を表示できます。

◆ サマータイムに設定

1 時間帯表示画面で を押して希望の時間帯へ切替えます。

2 「設定」>「サマータイムに設定」を選択します。

ストップウォッチ

ストップウォッチ機能を使用して最大 5 つの記録を本体に保存できます。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「ストップウォッチ」を選択します。

3 ストップウォッチ画面で、次の操作を実行できます。

- 開始 または を押して時間計測を開始します。
- 保存 または を押して計測時間を保存します。すると次の計測が自動的に開始されます。順番に操作を継続します。
- 一時停止 を押して時間計測を一時停止します。
- 続行：一時停止状態で を押すか、または「設定」>「続行」を選択して一時停止していたところから時間計測を継続します。
- リセット：一時停止状態で「設定」>「リセット」を押してすべてのストップウォッチの記録を消去します。

タイマー

最大 99 時間 59 分までタイマーを設定することができます。

1 「メインメニュー」>「ツール」を選択します。

2 を押して「タイマー」を選択します。

3 時間を入力します。

4 を押してタイマーを開始します。タイマーが待受画面に表示されます。

タイマー開始後、上記の手順 1 ～ 2 でタイマー画面を表示すると次の操作が実行できます。

- 一時停止：を押して時間計測を一時停止します。
- 続行：一時停止状態でを押して一時停止したところから時間計測を継続します。
- リセット：一時停止状態でを押してタイマーをリセットします。

カスタマーセンター

お問い合わせ先の電話番号が登録されています。OKボタンを押すと、自動的にイー・モバイル カスタマーセンターにダイヤルします。

（尚、イー・モバイル カスタマーセンターの詳細は裏表紙内側に記載してありますので、ご参照下さい。）

カスタマーセンター

15 オプションサービス

各種オプションサービスの詳細は、イー• モバイルのホームページにてご確認ください。

転送電話

1 「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「転送電話」を選択します。

2 「フル転送」、「圏外時転送」、「話中時転送」、および「無応答時転送」の中から転送電話条件を選択します。

3 次に「電話」、「TV電話」、「全サービス」の中から転送タイプを選択します。

- 設定する：転送先番号を入力し、◎を押して着信をこの番号へ転送します。
- 停止する：着信転送設定を取り消します。
- 設定確認:転送電話サービスの設定を確認します。

すべての 着信転送を無効にする

1 「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「転送電話」を選択します。

2 「全て無効」を選択した後に、無効にしたいサービスを選択します。

3 ◎を押して選択したサービスのすべての着信転送を無効にできます。

留守番電話

- 留守番電話サービスをご利用される場合は、始めに着信を留守番サービスに転送させる必要があります。
- 転送電話の設定を参考に、転送設定をおこない、転送先電話番号入力画面にて、「設定する」>「転送先番号」で「留守番電話番号」を入力します。
- 留守番電話番号は「08070017000」です。
- 番号が正しく入力されていることを確認し、「設定」>「転送電話の要求」を選択します。尚、転送設定で「停止する」を選択すると留守番サービスを停止し、「設定確認」で留守番電話の設定状況を確認することができます。
- 留守番電話のメッセージを聞くには 1416 にダイヤルします。

＊ 留守番電話にメッセージがあると、SMSで通知されます。

発着信規制

「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「発着信規制」を選択して次の設定をします。

発信制限

1 「全発信」、「国際電話」、および「滞在国及び日本への発信のみ」から発着信規制条件を選択します。

2 次に「電話」、「TV電話」、「全サービス」の中から発着信規制タイプを選択し、次の設定をします。

- 設定する：発着信規制用暗証番号を入力し、◎を押してこのサービスを有効にします。
- 停止する：発着信規制用暗証番号を入力し、◎を押してこのサービスを無効にします。
- 設定確認：発着信規制サービスの設定を確認します。

着信制限

1 「全着信」および「海外での着信」から発着信規制条件を選択します。

2 次に「電話」、「TV 電話」、「全サービス」の中から発着信規制タイプを選択し、次の設定をします。

- 設定する：発着信規制用暗証番号を入力し、◎を押してこのサービスを有効にします。
- 停止する：発着信規制用暗証番号を入力し、◎を押してこのサービスを無効にします。
- 設定確認：発着信規制サービスの状態をチェックします。

全て無効

「電話」、「TV電話」、「全サービス」の中から 1 つを選択し、発着信規制用暗証番号を入力します。◎を押して各タイプのすべての発着信規制サービスを取り消します。

発着信規制用暗証番号の変更

1. 「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「発着信規制用暗証番号」を選択します。
2. 現在の暗証番号を入力します。（暗証番号の初期設定は、イー・モバイル新規ご契約時の4桁のネットワーク暗証番号です。）
3. 新しい暗証番号を入力します。
4. もう一度新しい暗証番号を入力して を押します。

割込通話

1. 「メインメニュー」>「設定」>「通話設定」>「割込通話」を選択します。
2. 次の設定があります。
   - オン：割込通話サービスを有効にします。
   - オフ：割込通話サービスを無効にします。
   - 設定確認：割込通話サービスの設定を確認します。

- 割込通話は別途お申し込みが必要なサービスです。詳しくはお問い合わせ先（裏表紙内側）までご連絡ください。

割込通話

機能

メインメニュー	項目	参照先
エンターテイメント	カメラ	P117
	ミュージック	P129
ブラウザ	EMnet	P109
	URL 直接入力	P110
	ブックマーク	P111
	インターネット設定	P115
通話履歴	ー	P50
ミュージック	マイミュージック	P129
	プレイリスト	P133
メール	新規メール作成	P90
	メールフォルダ	P90
	新規 SMS 作成	P100
	SMS フォルダ	P100
	新着メール確認	P106
	SMS プッシュ受信箱	P106
	設定	P98、P105、P106

メインメニュー	項目	参照先
データフォルダ	ピクチャー	P135
	ミュージック	P135
	動画	P135
	その他	P135
ツール	USIM ツールキット	P171
	アラーム	P171
	カレンダー	P173
	電卓	P178
	単位変換	P179
	通貨変換	P180
	同期	P181
	タスクリスト	P182
	ボイスレコーダ	P185
	メモ帳	P186
	ワールドタイム	P187
	ストップウォッチ	P188
	タイマー	P188
	カスタマーセンター	P189
電話帳	ー	P67

機能

メインメニュー	項目	参照先
設定	一般設定	P157
	ディスプレイ設定	P162
	メール設定	P98、P105、P106
	通話設定	P164、P191
	TV電話	P83
	接続設定	P141
	ネットワーク設定	P166
	セキュリティ	P167

設定メニュー	設定項目		ご購入時設定
一般設定	モード設定		標準
	Phone language		自動
	ユーザー辞書		（なし）
	辞書	顔文字辞書	オン
		顔文字辞書 2	オン
		首都圏ランドマーク辞書	オン
		京阪神ランドマーク辞書	オン
	日付／時刻設定		2008.01.01　00:00
	日付表示形式		年・月・日
	ショートカット	上方向キー	ブラウザ
		下方向キー	電話帳
		左方向キー	新規メール作成
		右方向キー	データフォルダ
	電源自動オン／オフ	自動オン	オフ
		時間	00:00
		自動オフ	オフ
		時間	00:00

機能

設定メニュー	設定項目	ご購入時設定
ディスプレイ設定	壁紙	標準
	背景色テーマ	テーマ 2
	画面の明るさ	2
	キーパッド証明	オン
	バックライト照明時間	30 秒
	節電画面	20 秒
	起動メッセージ	Hello!

設定メニュー	設定項目			ご購入時設定
メール設定	メール設定ウェブ			イー・モバイル設定ページにジャンプ
	メール	送信	有効期間	最大
			配信レポート	オフ
			送信制限	500 KB
			送信時保存	オン
		受信	配信レポート送信	オフ
			受信制限	500 KB
			自動受信	オン
		アクセスポイント		EMnet
		WAP ゲートウェイ	IP アドレス	010.056.046.001
			IP ポート	8080
			ユーザー名	（なし）
			パスワード	（なし）
		メールサーバー		http://mms.internal.emnet.ne.jp
		接続タイプ		HTTP

機能

設定メニュー	設定項目		ご購入時設定
メール設定	SMS	SMS センター	EM chip から
		有効期間	最大
		自動保存	オン
		保存先	本体優先
		署名	オフ
		受信レポート表示	オフ
	プッシュメール	プッシュメッセージ設定	全て受け入れる
		プッシュ SL 設定	オフ
	留守番電話番号		1416
	定型文		時に会いましょう
	インターネット用語		.ne.jp/

設定メニュー	設定項目	ご購入時設定
通話設定	転送電話	全転送サービス無効化
	発着信規制	全発着信規制サービス無効化
	割込通話	割込通話サービス無効化
	自動リダイヤル	オフ
	着信応答設定	通話キー
	自動応答	オフ
	発信者番号通知	自動
	回線選択	回線 1
	自局電話番号	（EM chip から自動取得）
	発着信規制用暗証番号	0
	未登録番号保存確認	オン

機能

設定メニュー	設定項目		ご購入時設定
TV 電話	ピクチャインピクチャ		右下
	画面切替		相手画像大
	画質		動き優先
	カメラ		オフ
	音声		オン
	音声モードで自動発信		オフ
	送信画像設定		デフォルト画像を使用
	自動応答		オフ
接続設定	Bluetooth	Bluetooth オン／オフ	オフ
		自デバイス表示許可	非表示
		自デバイス名変更	H11HW
	モデム		USB 経由
	アクセスポイント		EMnet> アクセスポイント名 >emnet.connect
ネットワーク設定	ネットワーク種別		自動
	ネットワーク選択モード		自動
	マイ PLMN リスト		EMOBILE

設定メニュー	設定項目			ご購入時設定
セキュリティ	リセット			NO
	パスワードロック	本体ロック		オフ
		PIN ロック		オフ
	パスワード変更	本体パスワード		0000
		PIN2 変更		9999
	固定ダイヤル番号			オフ
	DRM 設定			0000
インターネット（ブラウザ内）	EMOBILE	ホームページ	タイトル	EMnet
			アドレス	http://open.emnet.ne.jp
		WAP ゲートウェイ	IP アドレス	010.056.046.001
			IP ポート	8080
			ユーザー名	（なし）
			パスワード	（なし）

故障と思われる前に

- 携帯電話の電源が入らない。
  - を 2 秒以上長く押しましたか？
  - 電池パックは正しく取り付けられていますか？ (→ P36)
  - 電池パック残量は十分ですか。電池パック残量が少ない場合は電池パックを充電してください。(→ P36)
- 本製品の電源を入れたときに PIN 入力画面が表示される。
  - PIN ロック機能が有効になっています。PIN コードを入力してください。(→ P168)
- 本製品の電源を入れたときに本体パスワード画面が表示される。
  - 本体ロック機能が有効になっています。本体パスワードを入力してください。ご購入時のパスワードは 0000 に設定されています。(→ P168)
- H11HW の電源を入れたときに「EM chip を挿入してください」と表示される。
  - EM chip が取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。EM chip を取り付けてください。(→ P27)
  - EM chip が有効なものであるか確認してください。
  - EM chip の IC 部分が汚れている可能性があります。EM chip をきれいな布で拭いて適切に取り付けてください。
- 音声電話またはテレビ電話が接続できない、またはメールおよびウェブ接続が利用できない。
  - 本製品が圏外でないか、または信号が弱いか、不安定でないかチェックします。該当する場合は信号が強い場所へ移動してください。
  - 携帯電話がオフラインでないかチェックします。アイコン表示エリアに がある場合は、他の設定モードに切り替えてください。(→ P159)
- 音声通話またはTV電話が接続できない。

– 発着信規制で制限された発信ではありませんか？ (→ P192)

- 受信メールまたは着信で名前が表示されない。

– メールアドレスが電話帳に登録されていない可能性があります。電話帳を確認してください。

– 電源を入れた直後に発信者の名前が表示されない場合がありますので、待受画面へ戻り、時間をおいてもう一度試してください。

- 音声通話またはテレビ電話を受信したときに着信音、画像および名前など登録されている内容が表示されない。

– これは本製品の電源を入れた直後に発生することがあります。このときに音声電話またはテレビ電話を受信すると番号だけが表示され、画像は表示されません。電源を入れ、しばらく時間が経過すると、正しく表示されます。

- 通信品質が悪く、通話がしばしば切断される。

– 本製品が圏外、信号が弱い、または不安定な場所ではないですか？信号が強い場所へ移動してください。

- オーディオファイルを再生中にミュージックの操作キーが応答しない。

– 操作キーロックが有効になっていないか確認してください。サブディスプレイ内の右上に鍵アイコンが表示されている場合は、カメラキーを長押しするとロック解除することができます。

- 電池パックを充電できない。

– AC アダプタがしっかりと本製品に接続されていることを確認してください。(→ P37)

– AC アダプタがしっかりと家庭用コンセントに差し込まれていることを確認してください。

– 電池パックは本製品に正しく取り付けられていますか？ (→ P36)

– 本製品、電池パックおよび AC アダプタの端子が清潔であることを確認してください。

– 電池パックは0℃から45℃の範囲を超えると充電できない可能性があります。

– 電池パックが劣化している可能性がありますので、新しい電池パックをお買い求めください。

- 本製品／アクセサリが温かい。
  - 充電中は､本製品およびACアダプタが温かくなる可能性がありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。しかし、長時間肌に触れていると低温やけどをする可能性がありますのでご注意ください。
- 本機の待受時間および通話／通信時間が短い。
  - 温度、充電条件、または信号の強さ、および操作、設定などにより異なります。

注 ここで問題の解決を見つけられない場合はお問い合わせ先（裏表紙内側）へご連絡ください。

記号一覧

全角記号

＠！．，：；～´（）？＋″￥＃＄％＆〈〉
￣＿。｜［］＾｀｛｝－＝／『』、・＊゛
゜¨〔〕ヽヾゝゞ〃《》「」仝々【】〆―
±×÷○≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′—℃‖…¢
£・・’‘”“§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼
※〒→←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯
♭♪†‡¶◯↵

半角記号

@ ! . , : ; ~ ’ ( ) ? + ” ¥ # $ % & < > ¯ _ ｡ | [ ] ^ `
{ } - = / ｢｣ ､ ･ * ﾞ ﾟ ↵

絵文字一覧

データ保存可能件数

共有メモリ		
メール	メール	最大 200 件
	SMS	最大 500 件
Web	URL の入力	最大 10 件
	ブックマーク	最大 50 件
	保存されたページ	最大 12 ページ件
電話帳	-	最大 1,000 件
通信履歴	不在着信	最大 50 件
	着信履歴	最大 50 件
	発信履歴	最大 50 件

注 保存できる件数は、データサイズと空きメモリの容量に依存します。

主な仕様

H11HW

項目	仕　様
サイズ （W × H × D）	「折りたたみ時のサイズ」 約 49.5mm x 97.8mm x 17.5mm
重量	約 105g（電池パックを含む）
連続待受時間	約 380 時間
連続通話時間	約 190 分
充電時間	約 2.5 時間

注　連続待受時間、連続通話時間は使用環境、電波状況などにより変動します。

電池パック

項目	仕　様
電圧	3.7V
電池パック	リチウムイオン
容量	850mAh
サイズ （W × H × D）	約 44.5mm x 37.8mm x 5.7mm

AC アダプタ

項目	仕　様
電源	AC 100V ～ 240V
入力電流	最大 0.2A
出力電圧／電流	5.0V/650mA
サイズ （W × H × D）	約 59.6mm × 61mm × 28mm
コードの長さ	約 180cm

用語集

Bluetooth	2.4GHz 帯の電波を使って数メートル程度離れた機器間の接続に使用される短距離無線通信技術。
EM chip	携帯無線通信サービス用に提供される端末用 USIM カードのイー・モバイルの固有名称。
GPRS	General Packet Radio Service の略。汎用パケット無線システム第 2.5 世代移動通信 (2.5G) である GSM などで使用されているパケット交換データサービス。
GSM	Global System for Mobile Communications の略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式。世界各国で利用されている事実上の世界標準。
HSDPA	High Speed Downlink Packet Access の略。携帯電話で使用される W-CDMA を高速化した拡張規格。
PIN	Personal Identification Number の略。ユーザー毎に割り振られるパスワードの一種のこと。本製品では EM chip に登録される専用のパスワードを PIN と表示しています。
PUK	Personal Unblocking Key の略。PIN ロック解除キーのこと。
SMS	Short Message Service の略。携帯電話間で短い文字メッセージを送受信可能とするサービス。
UMTS	Universal Mobile Telecommunications System の略。ヨーロッパの第 3 世代 (3G) 移動体通信システム。IMT-2000 準拠の通信方式の欧州標準で、最大通信速度は 2Mbps。現在用いられている GSM 標準の発展形。

WAP	Wireless Application Protocol の略。無線を使用してサーバ情報にアクセスするための世界標準通信方式。
W-CDMA	Wideband-Code Division Multiple Access の略であり、「広帯域符号分割多元接続」と訳される。広帯域通信を行うための第三世代無線通信方式。
アクセスポイント	イー・モバイルの携帯無線通信サービスの各種サービスを利用するためのゲートウェイ。
プッシュメール	通常の電子メールは、端末の方からメールサーバーにアクセスして、メールがあればそれを取り込みます。一方、プッシュメールは、SMS と同様に、メールがサーバーに届くと、サーバーが 端末にそのメールを届けます。主にオペレータからの通知などに使われます。
ローミング	Roaming の訳。携帯電話事業者間の合意により他事業者エリア内でも携帯電話を利用できるサービス。

英数字

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ひ

ふ

ほ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

り

る

れ

ろ

わ

保証とアフターサービス

■保証について
お買い上げ頂くと保証書が添付されています。
保証書に「お買い上げ日」及び「販売店」が記載されているかをお確かめの上、内容を良くお読みになって大切に保管してください。
「お買い上げ日」、「販売店」の記載がない場合や、記載事項が改ざんされている場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
保証内容については保証書に記載されております。

■修理について
修理を依頼される前に、この説明書の「故障と思われる前に」(→ P198) をお読みになり、もう一度ご使用方法をご確認ください。それでも正常にご使用いただけない場合は、お問い合わせ先（裏表紙内側に記載）までご連絡ください。

・ 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
・ 保証期間経過後の修理
修理によってご使用いただける場合は、お客様のご要望により、有償にて修理いたします。

■ご注意
・ 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部又は一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
・ 本製品の故障、誤動作又は不具合などにより、通信等の機会を逸したために発生した障害など付帯的な障害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
・ 故障または修理により、お客様が登録されたデータや設定した内容が消去される（お買い上げ時の初期状態になる）場合がありますので、アドレス帳など大切なデータはバックアップを取られることをお勧めします。
・ 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんのでご注意ください。

■補修用部品について
本製品及び周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後６年間です。補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。